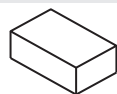


9. ウォシュレット

使用部材



詰め合わせ箱

止水栓

【既存給水流用】

パッキン

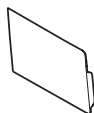


給水アダプター
(1個)



その他包装

大便器

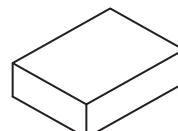


サイドカバー(左)
(1枚)



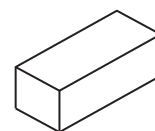
サイドカバー(右)
(1枚)

ウォシュレット



(1箱)

便器洗浄ユニット



(1箱)

MEMO

1 ウォシュレットの設置

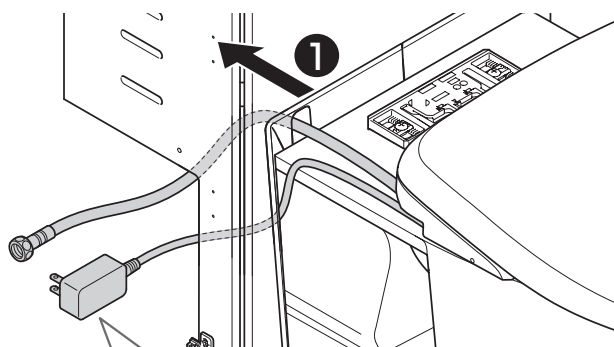
- ① 作業がしやすいように、ウォシュレットを手前に引き出し傷つかないように養生する

参照 ウォシュレットの施工説明書

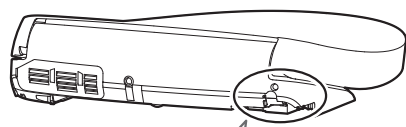
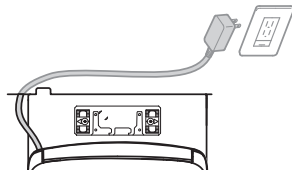
既存給水流用(水抜方式)右側立ち上げの場合

給水ホースをウォシュレット用給水ホース(別売品)と交換する

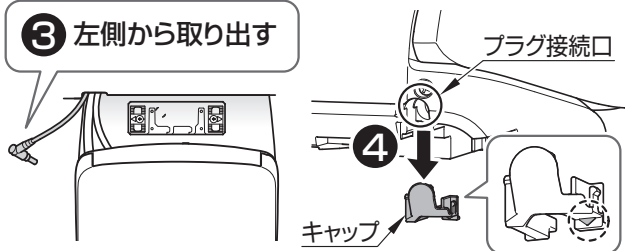
2 給水ホース・電源コードの取り回し



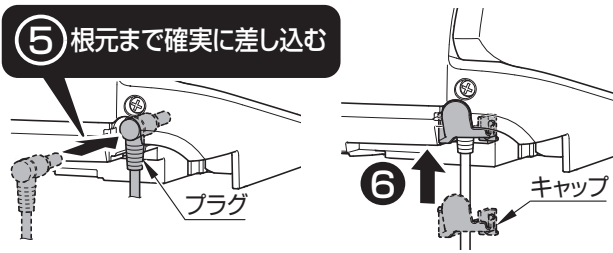
- ② プラグを便器側面からコンセント側に通す



- ③ 左側から取り出す



- ⑤ 根元まで確実に差し込む



- ⑦ 引き出したウォシュレットを取り付ける

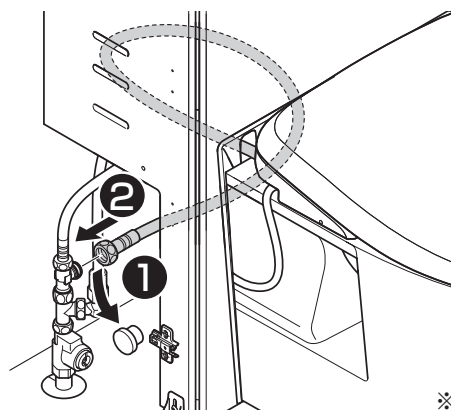
3 給水ホースの接続

⚠ 注意



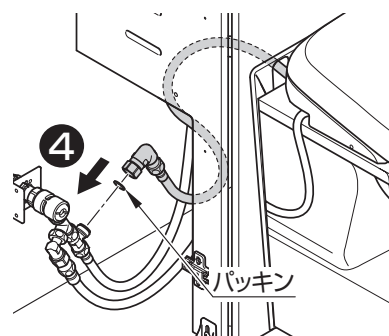
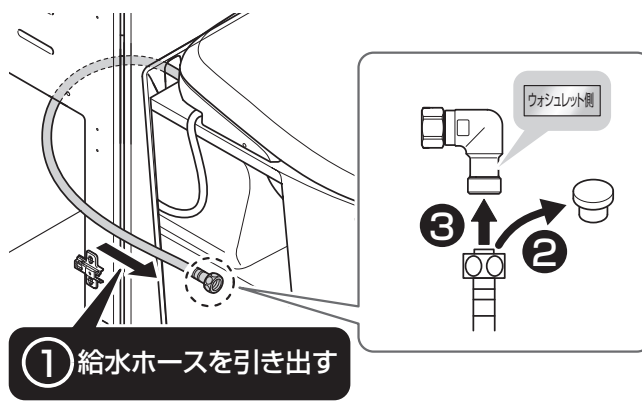
給水ホースを折り曲げたりしない
水漏れの原因となります。

給水新設、既存給水流用 水抜方式の場合



※図は床給水の場合

既存給水流用 一般地/流動方式の場合

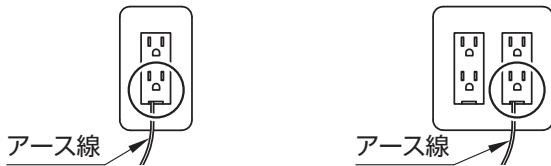


4 アース線の接続

① アース線のみアースターミナルに取り付ける

2口コンセントの場合

4口コンセントの場合



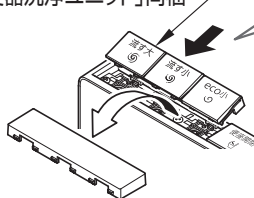
5 リモコンの設定・作動確認

① 電源プラグの差し込み

※ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認すること

流すボタン

「便器洗浄ユニット」同梱



② 流すボタンの取り付け

参照 流すボタン取付説明書

リモコンには流すボタンが取り付けられていません。必ず取り付けてください。

③ ウォシュレット本体の電源プラグを差し込んだことを確認し、モード設定をする

モード設定はウォシュレット本体を取り付け、電源を入れたあとに行ってください。

※ウォシュレット本体の電源が入ってないと設定を受け付けません。

ビデ/ワイド

水勢

④ [ビデ/ワイド] と [水勢 -] を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

水勢

水勢

⑤ [おしり/ソフト] → [水勢 -] → [水勢 +] の順に押す

ピッ

ビデ/ワイド

水勢

⑥ [ビデ/ワイド] と [水勢 +] を同時に10秒以上押す

リモコンランプが点灯・点滅します。

確認



おしり/ソフト

水勢

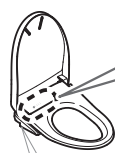
おしり/ソフト

⑦ [おしり/ソフト] → [水勢 -] → [おしり/ソフト] の順に押す

電子音が鳴ると同時に本体表示部(便座)ランプが2回点滅することを確認する

電子音とランプの点滅が下記でなかった場合は、設定が正しくできていません。

手順③に戻り設定しなおしてください。



本体表示部



<便座>
2回点滅

ピーツ、ピーツ

⑧ 作動確認

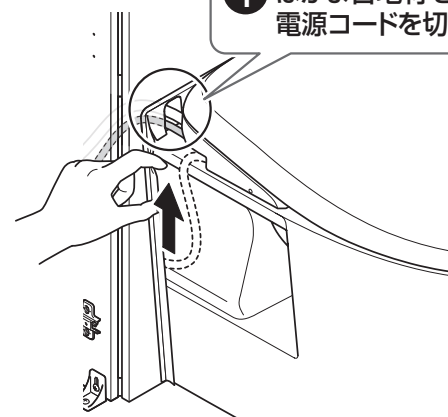
※連続して流すボタンを押しても作動しません。約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



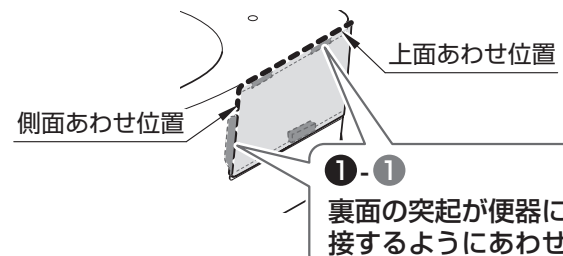
※正しく作動しない場合は、再度手順③から設定してください

6 サイドカバーの取り付け

① はかま目地材を指でめくりながら電源コードを切り欠きに通す



取り付けかた



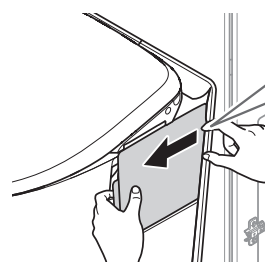
①-①

裏面の突起が便器に接するようにあわせる

①-②

はかま目地材を指でめくりながらカバーを差し込む

取り外しかた



①-①

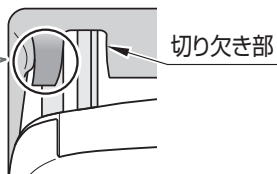
はかま目地材を指でめくりながらカバーを外す

7 はかま目地材の仕上げ

① はかま目地材を便器に沿わす

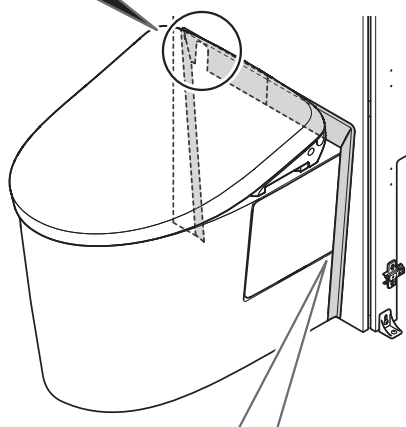
② 給水ホース、電源コードを切り欠き部に通す

③ この箇所を便器 上面に沿わせる

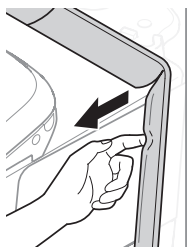


④ 浮き・すき間がないことを確認する

サイドカバーが確実にハマっていないとはかま目地材がずれるおそれがあります。



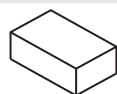
⑤ はかま目地材が奥に入った場合は手前に引き出す



MEMO

10. 棚板

使用部材



コアキャビネット

コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

底板セット

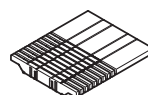


アングル材
(2個)

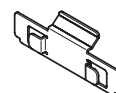


トラスタッピンねじ
4×40(2本)

棚板セット



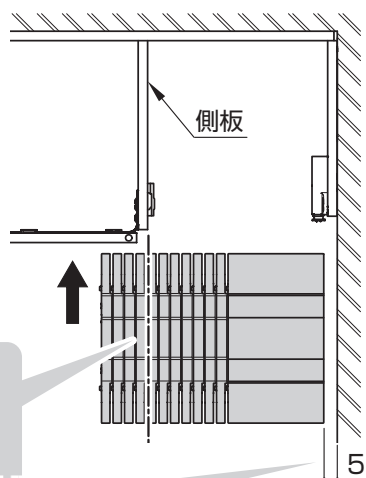
棚板
(2枚)



支持材
(2個)

1 棚板のカット

【上面図】

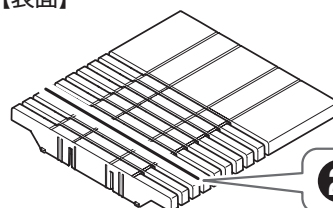


① けがき



壁から5mm程度すき間
を空けて側板端から一番
近い溝をけがく

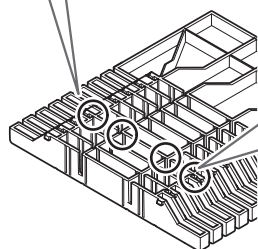
【表面】



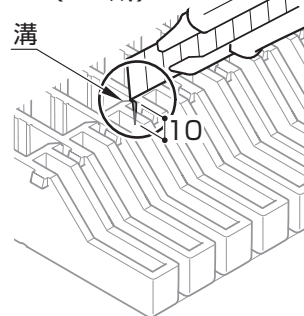
② カッターで2回程なぞる

【裏面】

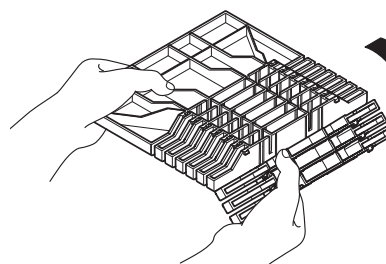
③ けがいた位置を
確認(4カ所)



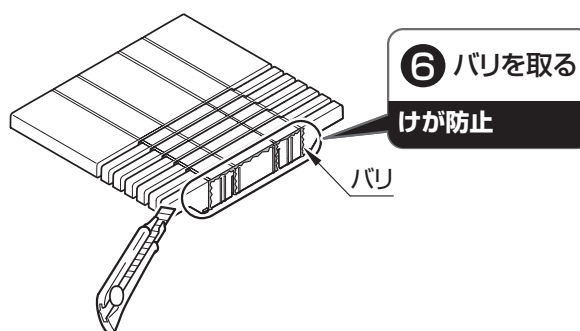
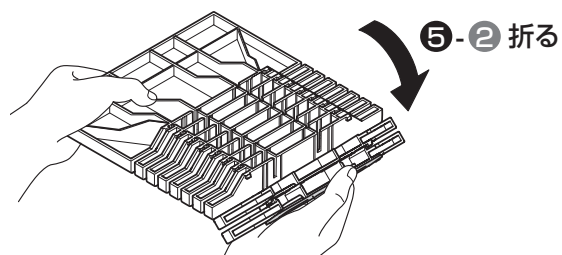
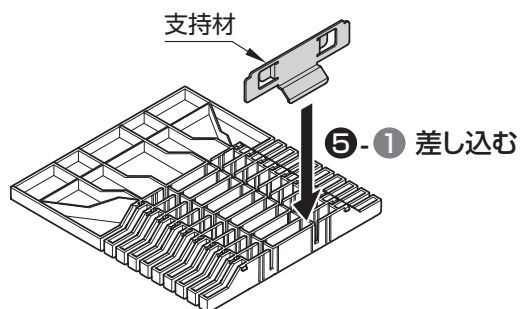
④ リブの溝にあわせて
切り込みを入れる
(4カ所)



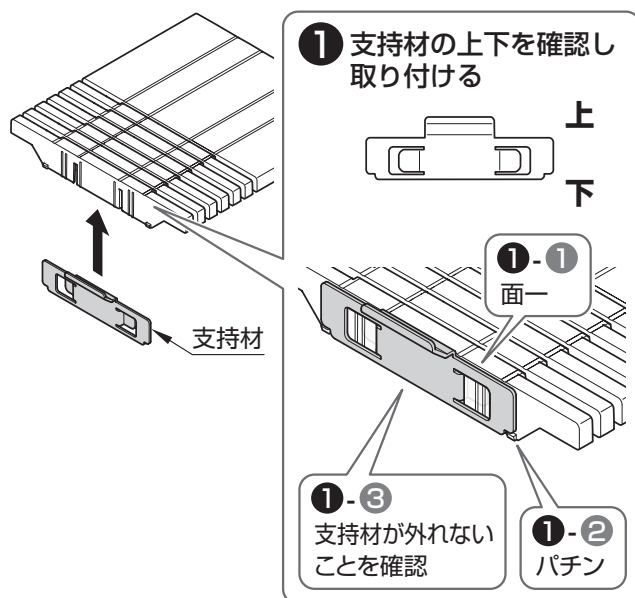
⑤ 折る



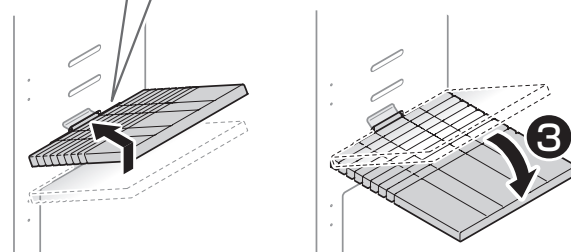
【棚板のカット寸法が小さく折りづらい場合】



2 棚板の取り付け

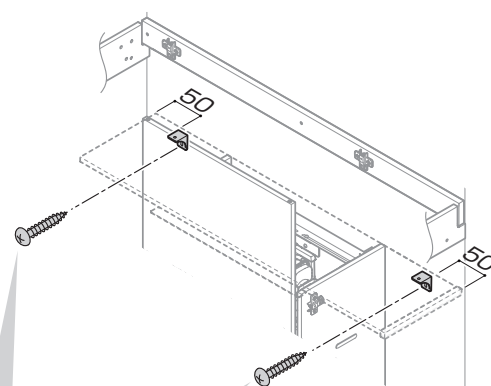


2 棚板の取り付け



3 アングル材の取り付け

スリム収納タイプの
場合は11.扉へ



1 けがき → 下穴※

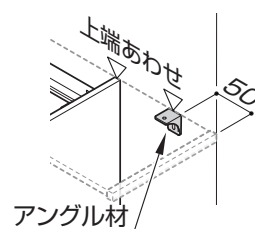


※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)

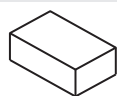


2 トラストッピンねじ 4×40(2本)



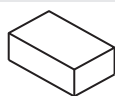
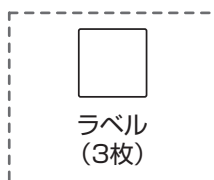
11. 扉

使用部材



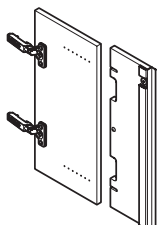
詰め合わせ箱

施工説明書



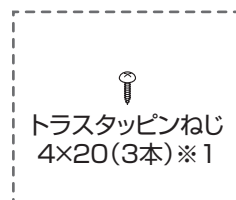
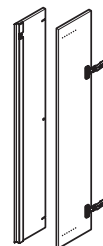
コアキャビネット

扉セット (手洗器設置側)



扉組品
(1セット)

扉セット (手洗器と反対側)



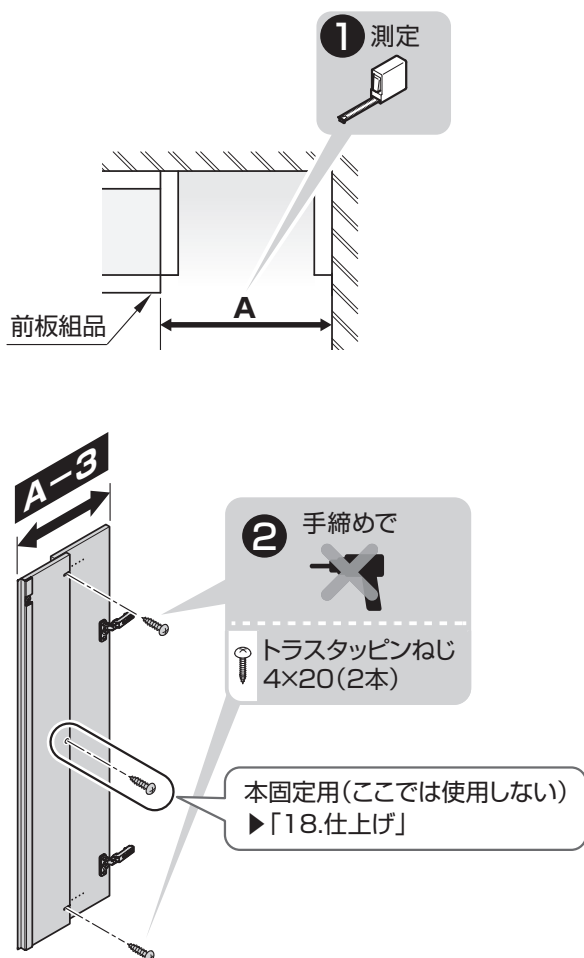
扉組品
(1セット)

※対応間口によって裏扉の仕様
(切り欠きの有無)は異なります。

※1 残り1本は18.仕上げで使用

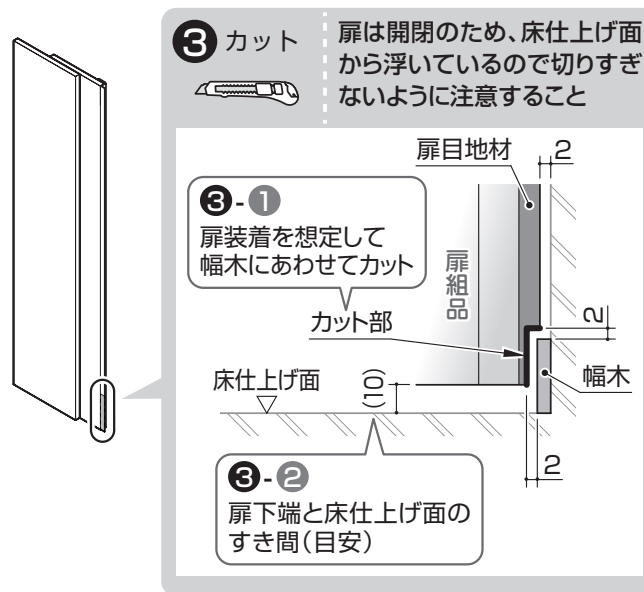
1

扉組品の組み立て

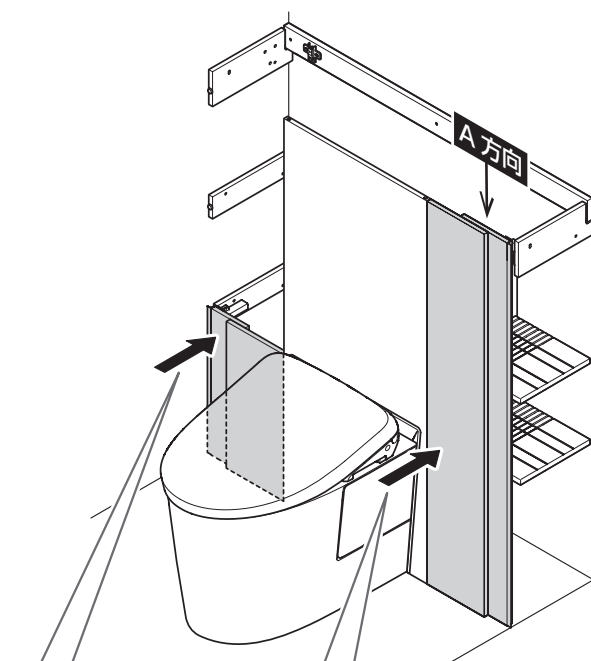


※図は扉セット (手洗器と反対側) の場合

幅木がある場合



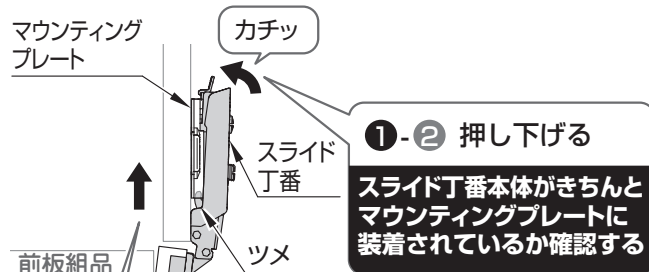
2 扉組品の取り付け



1 コアキャビネットのスライド丁番に取り付け

取り付けかた

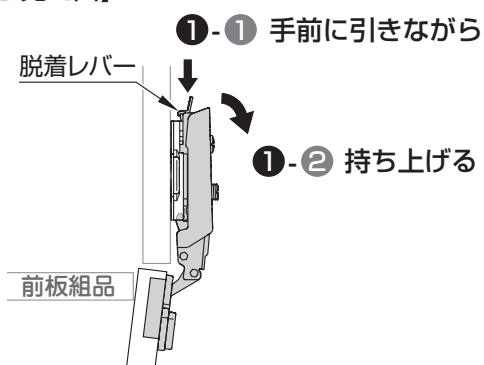
【A方向から見た図】



①-① マウンティングプレート先端にツメを引っ掛ける

取り外しかた

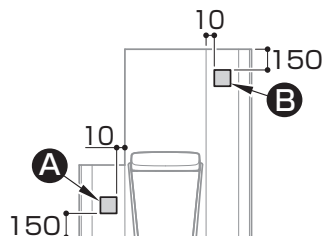
【A方向から見た図】



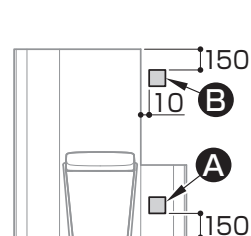
2 ラベルをはり付ける

A	止水栓ラベル
B	便器洗浄ラベル
C	4VOCラベル

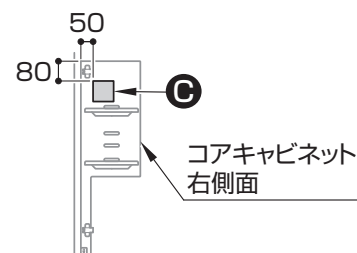
【止水栓が左にある場合】



【止水栓が右にある場合】



【右側面】

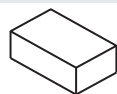


はり付け位置(参考)

MEMO

12. 固定扉

使用部材

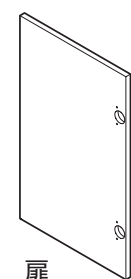


コアキャビネット

扉セット (手洗器設置側)

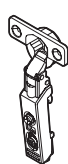
扉組品

【スリム収納タイプ】



扉
(1枚)

スライド丁番セット



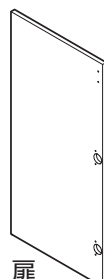
スライド丁番
(2個)



丁番用スペーサー
(2個)

皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

【まるごと収納タイプ】



扉
(1枚)

スライド丁番セット



スライド丁番
(2個)



丁番用スペーサー
(2個)

皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

平板金・ねじセット



平板金
(1個)

トラスタッピンねじ
4×10(4本)

キャップセット

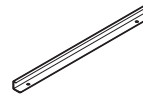


キャップ
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセット



キャップ
(1個)



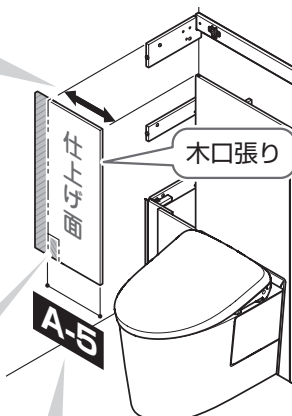
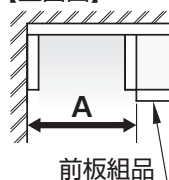
トラスタッピンねじ
4×8(2本)

1 扉のカット

左勝手の場合

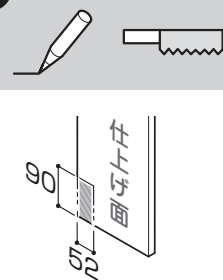
1 測定

【上面図】



3

けがき → カット



2

けがき → カット



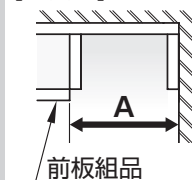
仕上げ面を上にしてカット
すること

施工不良防止

右勝手の場合

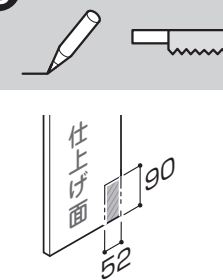
1 測定

【上面図】



3

けがき → カット



2

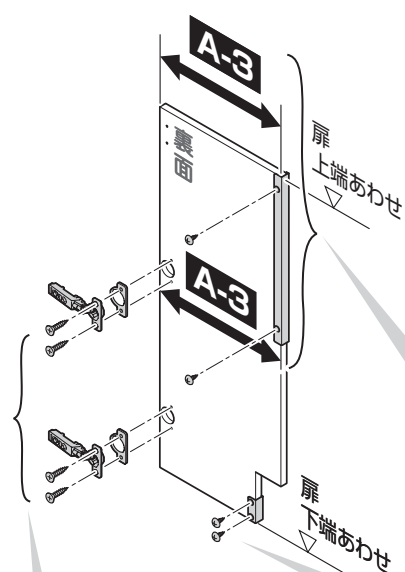
けがき → カット



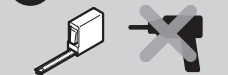
仕上げ面を上にしてカット
すること

施工不良防止

2 扉の組み立て



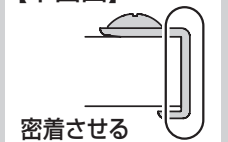
① 測定→手締めで



トラスタッピンねじ
4×8(各2本)

キャップ上下端を必ず
測定すること

【下面図】



② 手締めで

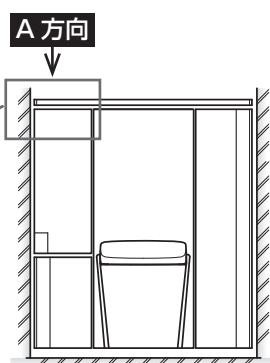
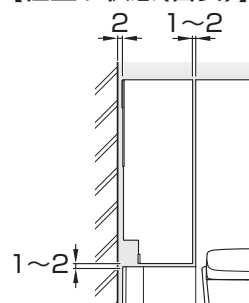


皿タッピンねじ
3.5×14(各2本)

天板開閉部材セットに同梱されている
スライド丁番を使用しないこと
形は同じでもスペーサー有無が異なります。
※まるごと収納タイプの場合

3 扉の取り付け

【仕上げ状態(目安)】

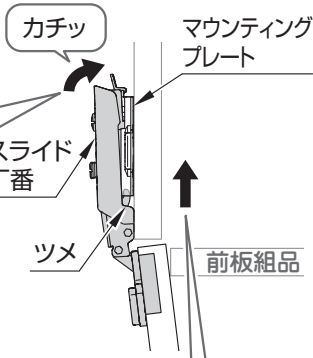


取り付けかた

【A方向から見た図】

①-② 押し下げる

スライド丁番本体がきちんと
マウンティングプレートに
装着されているか確認する



①-① マウンティングプレート 先端にツメを引っ掛ける

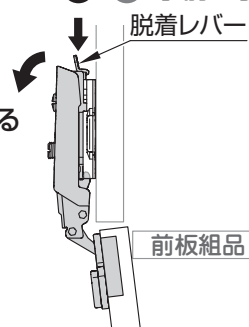
取り外しかた

【A方向から見た図】

①-① 手前に引きながら

脱着レバー

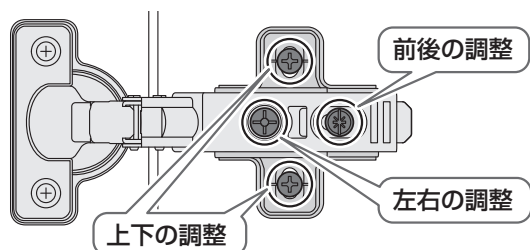
①-② 持ち上げる



MEMO

扉の調整

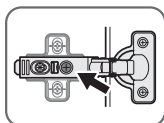
各ねじを調整することで扉を調整できます



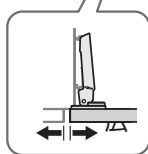
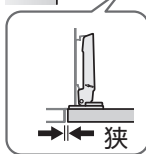
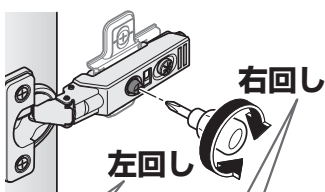
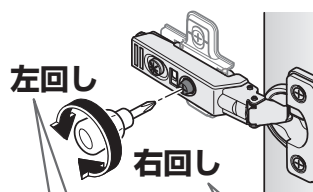
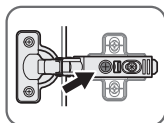
左右方向



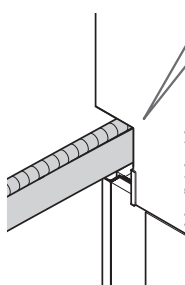
【左扉】



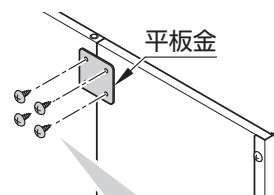
【右扉】



② 手洗器用排水ホース、
排水管組品を通す



まるごと収納タイプ



③ 手締めで



トラス
タッピンねじ
4×10(4本)

MEMO

13. 手洗器キャビネット・カウンター・幕板

使用部材



詰め合わせ箱（手洗器キャビネット用）

付属材セット（手洗器）

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】



トラスタッピンねじ
4×12(4本)

トラスタッピンねじ
4×50(4本)

【ハイバックタイプ】



トラスタッピンねじ
4×12(2本)

トラスタッピンねじ4×50(8本)
※残り4本は
14.手洗器・水栓金具で使用

紙巻器

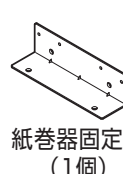
紙巻器固定材※メタル製紙巻器の場合

【樹脂製】※ねじセットの番号は各袋に記載の番号です。



ねじセット①
なべタッピンねじ
4.5×40(4本) 平座金
(4個)

ねじセット④
トラスタッピンねじ
4×14(4本)



皿タッピンねじ
4×40(2本)

皿タッピンねじ
4×16(2本)

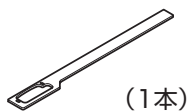


その他包装

カウンター

上段カウンター

【ベッセルタイプ(丸形)/(角形)】
【ハイバックタイプ】



※図はベッセルタイプ(角形)

ブラケットセット

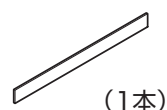
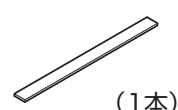


※1個は余り、設置寸法
により使用する個数
が異なります。

なべワッシャー
タッピンねじ
4×16(9本) トラス
タッピンねじ
4×30(6本)

下段カウンター

幕板



ブラケットセット



なべワッシャー
タッピンねじ
4×16(6本)

トラス
タッピンねじ
4×20(6本)

付属材セット

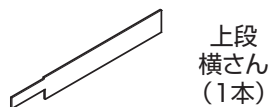
取付材
(4個)

アングル
(7個)

トラス
タッピンねじ
4×10(22本)

横さん

【ベッセルタイプ】
【ハイバックタイプ】



※図はベッセルタイプ



皿タッピンねじ
4×40(4本)

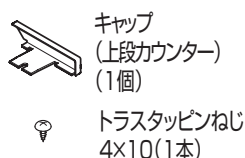
ねじセット

皿タッピンねじ
4×40(1本)

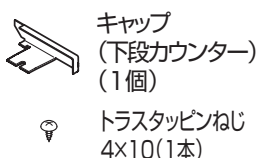
低頭タッピンねじ
4.5×50キャップ付
(8本)

キャップセット

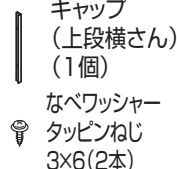
【上段カウンター】



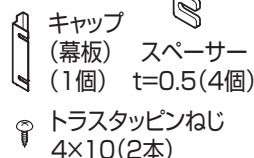
【下段カウンター】



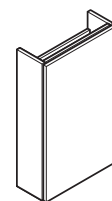
【上段横さん】



【幕板】

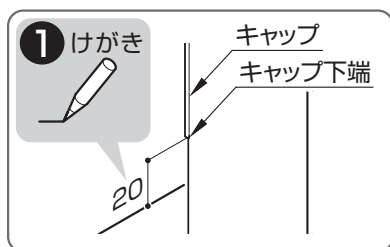


手洗器キャビネット

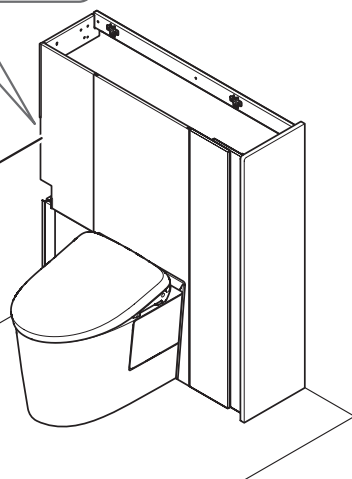


(1台)

1 上段横さんのけがき



2 水平確認



2 けがき

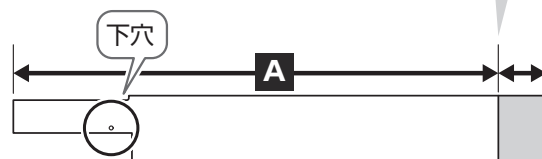


まるごと収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法A
	ベッセルタイプ (丸形/角形) 296	
	ハイバックタイプ 298	

スリム収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法A
	ベッセルタイプ (丸形/角形) 216	
	ハイバックタイプ 218	



3 カット

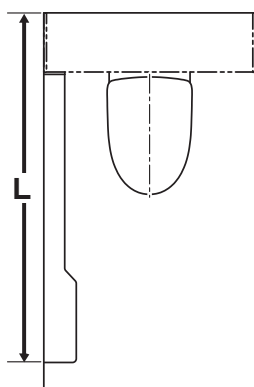


- ・意匠面(下穴があいている面)からカットすること
- ・上段横さんのカットは板に対して必ず垂直になるようにすること

割れ防止/すき間発生防止

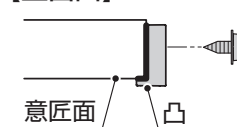
2 上段横さんのカット

1 L寸法をレイアウト図より確認する



4 意匠面にキャップ(上段横さん)の凸側を突き当てる

【上面図】

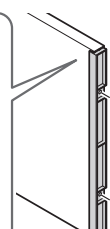


6 手締めで



なべワッシャー
タッピンねじ
3×6(2本)

5 下端をあわせる



3 上段横さんの取り付け

壁裏補強なしの場合

①-① 貫通穴



間柱にあわせて意匠面から貫通穴をあける
※右勝手の場合、左右反転した寸法となります。

施工不良防止

【左勝手】



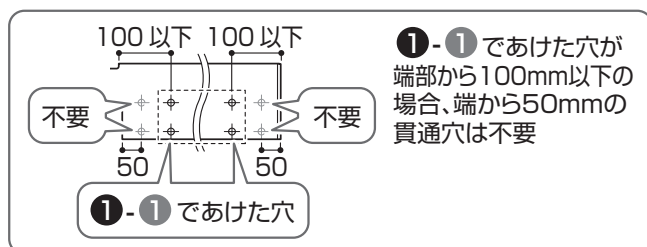
この箇所は間柱がある場合でも下穴はあけない

①-② 貫通穴



追加で意匠面から貫通穴をあける

施工不良防止



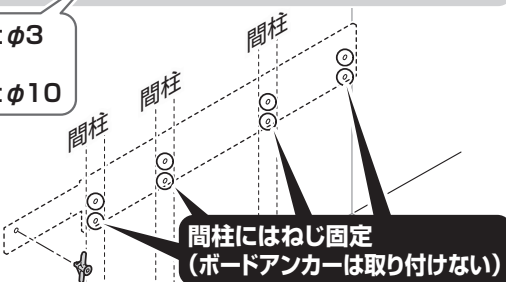
【左勝手】



② けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)



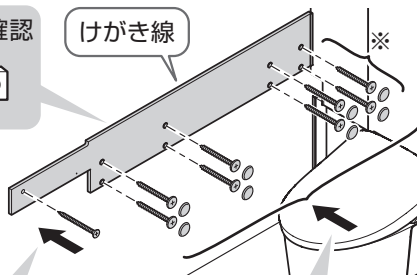
ねじ取付用: $\phi 3$
両端ボード
アンカー用: $\phi 10$



③ 水平確認



けがき線



⑤ 手締めで



皿タッピンねじ
4×40(1本)

④

低頭タッピンねじ
4.5×50キャップ付

※カウンターの長さ、間柱数によって、
使用するねじの数が異なります。
※ボードアンカー取付部は手締め

壁裏補強ありの場合

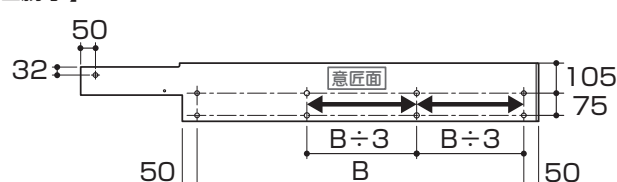
① 貫通穴



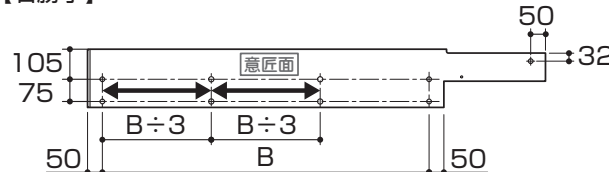
意匠面からあける

施工不良防止

【左勝手】



【右勝手】

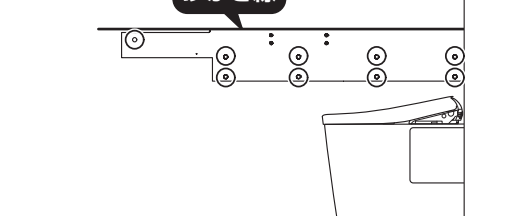


②

けがき → 下穴



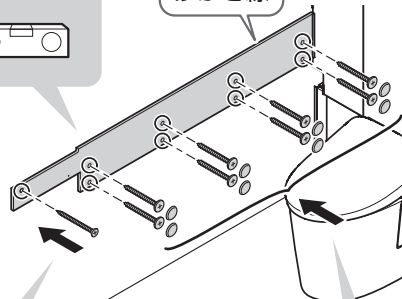
けがき線



③ 水平確認



けがき線



⑤

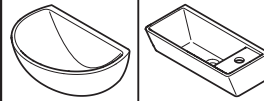
皿タッピンねじ
4×40(1本)

④

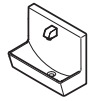
低頭タッピンねじ
4.5×50キャップ付(8本)

手洗器タイプにより取付手順が異なります、各手順へ進んでください

ベッセルタイプ



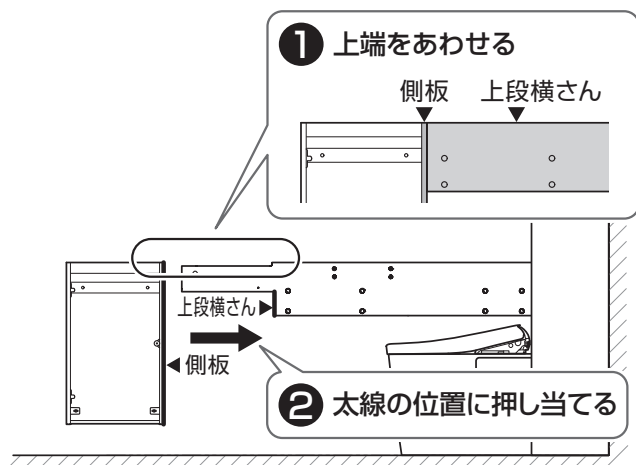
ハイバックタイプ



4 手洗器キャビネットの取り付け

P.70へ

4 手洗器キャビネットの取り付け

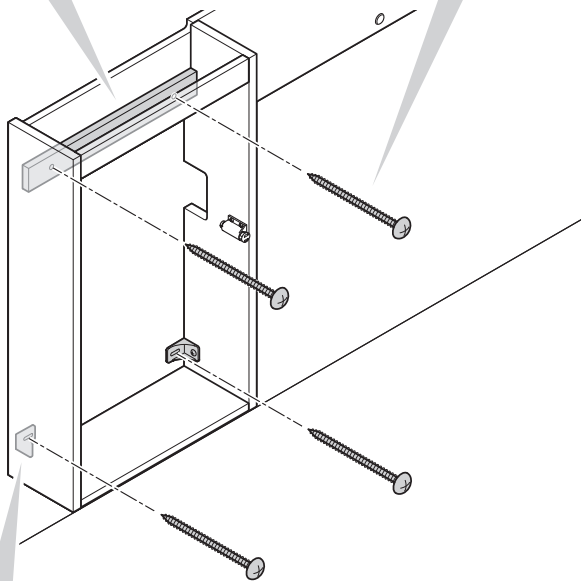


③ 水平確認



⑤ トラストタッピンねじ 4×50(4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め



4

※【壁裏補強なしの場合(下2カ所)】

設置壁に → 下穴※



設置壁に → 下穴 → ボードアンカー (オプション)

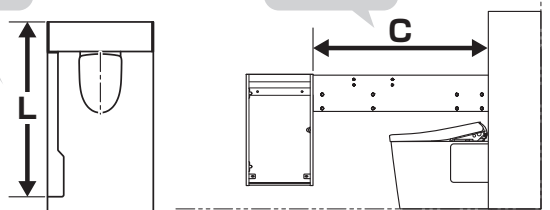


5 カウンター類のカット

① 測定



② 測定



③ けがき



奥行寸法C	規定寸法	けがき寸法E
	4	

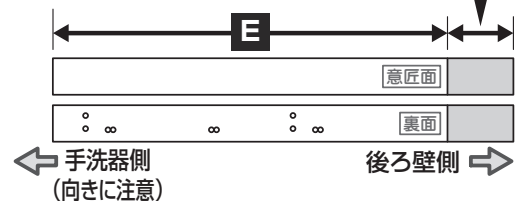
【下段カウンター】

④ カット



- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



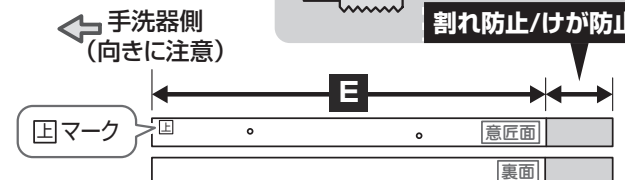
【下段横さん】

⑤ カット

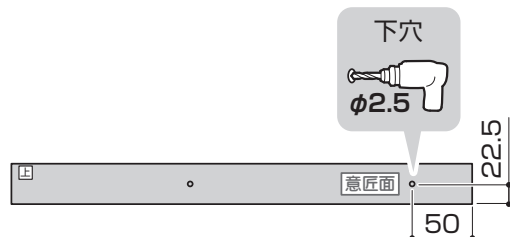


- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



E寸法が～720mmの場合



【幕板】

6 カット

- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



7 けがき

まるごと収納タイプ

奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法D
	274	

スリム収納タイプ

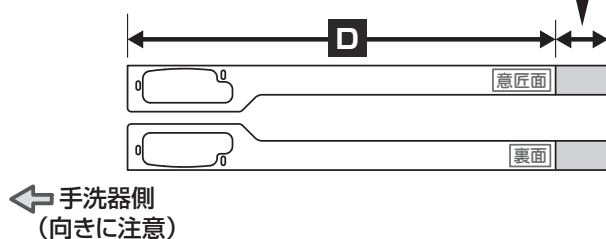
奥行寸法L	規定寸法	けがき寸法D
	194	

【上段カウンター】

8 カット

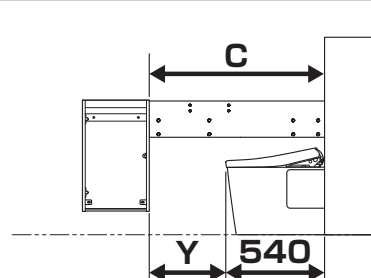
- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



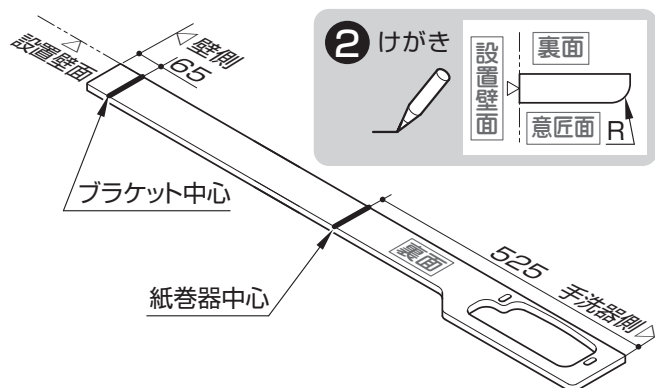
6 上段カウンター部材のけがき

1 測定



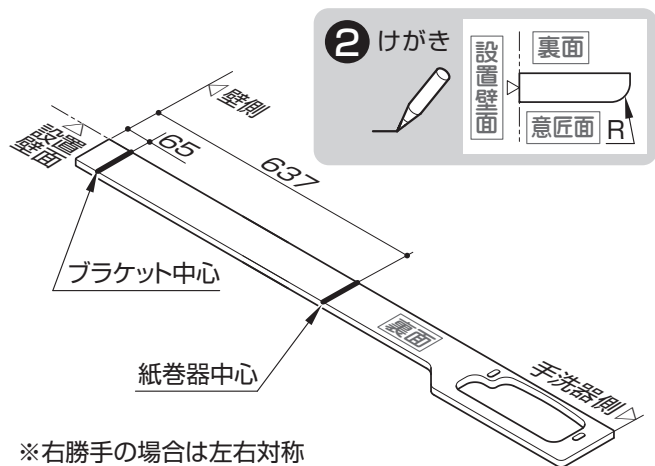
C寸法	規定寸法	Y寸法
	540	

Y寸法が～290mmの場合



※右勝手の場合は左右対称

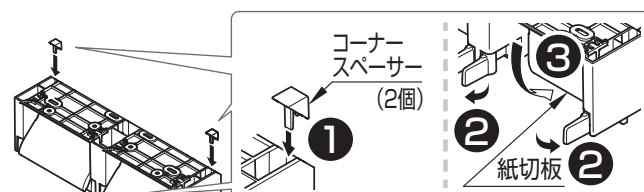
Y寸法が291mm～の場合

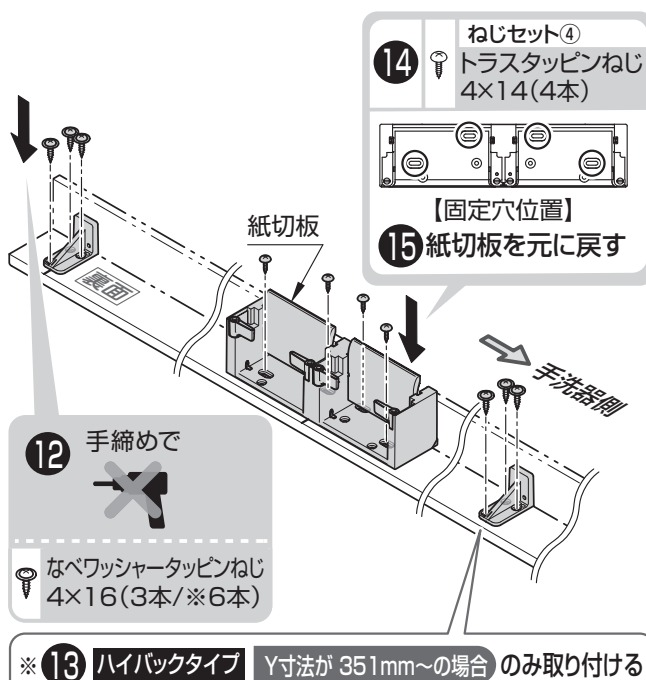
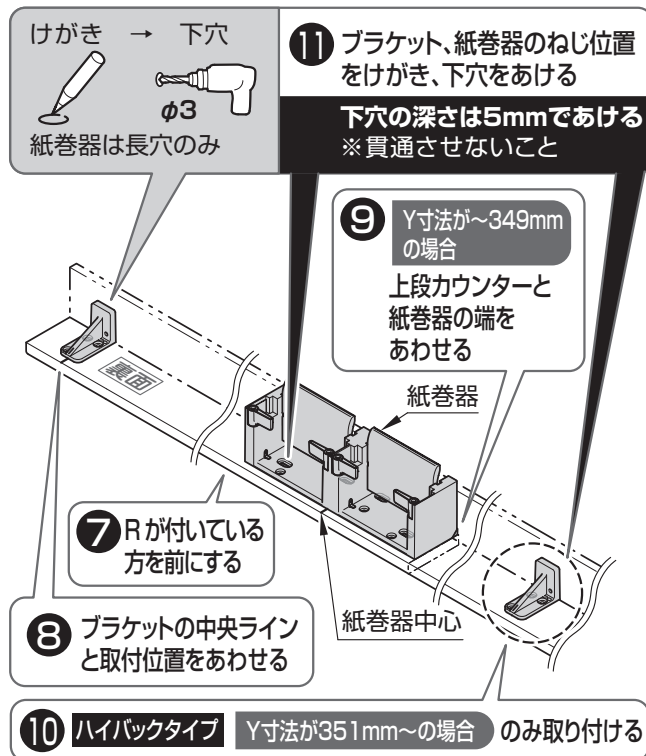
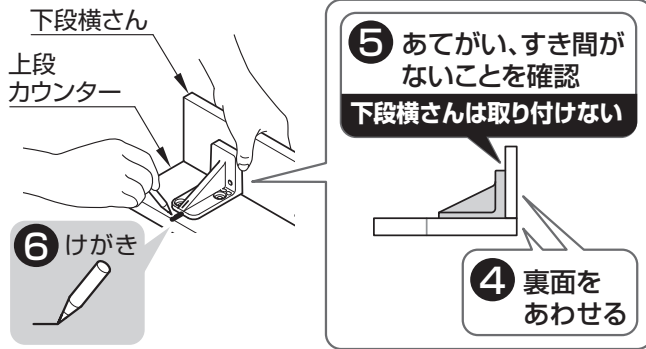


※右勝手の場合は左右対称

7 紙巻器・ブラケットの取り付け

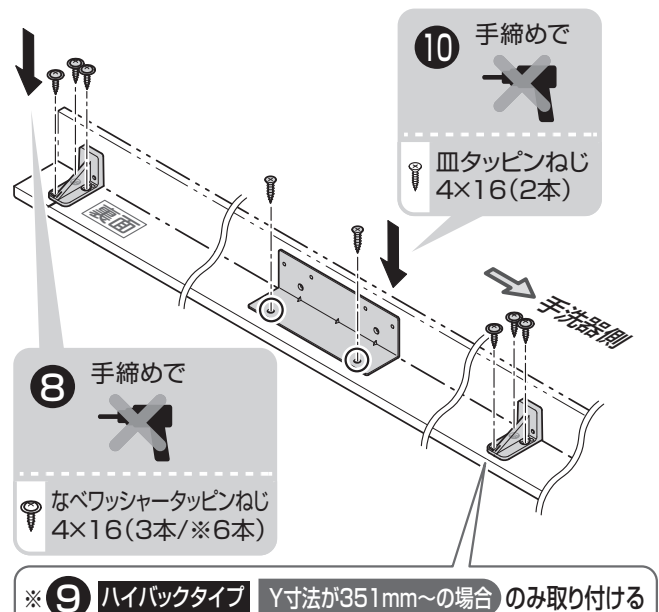
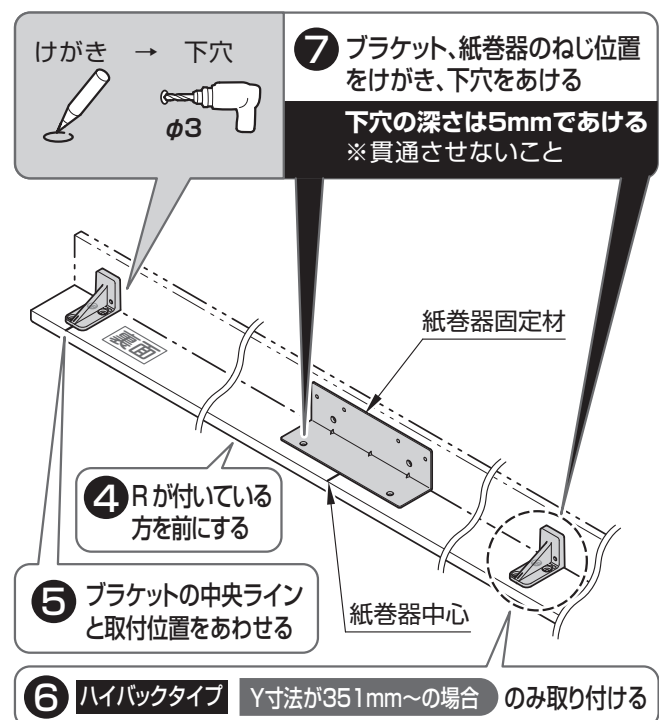
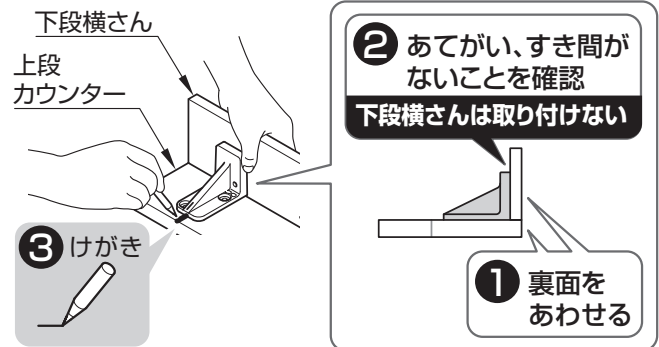
樹脂製紙巻器の場合





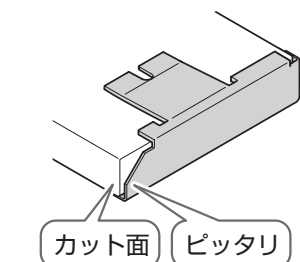
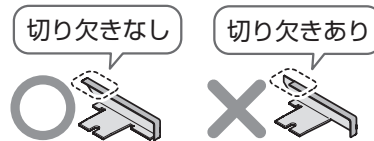
メタル製紙巻器の場合

※紙巻器の取り付けは、「18. 仕上げ」にて行います。
(▶P.106)



8 上段カウンターの取り付け

① 上部に切り欠きがないもの
を取り付ける



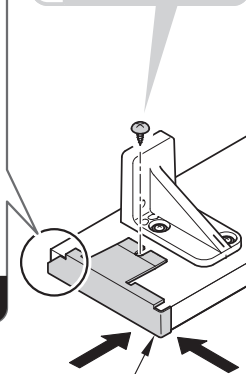
けが防止

② 手締めで



仮固定

トラスタッピンねじ
4×10(1本)



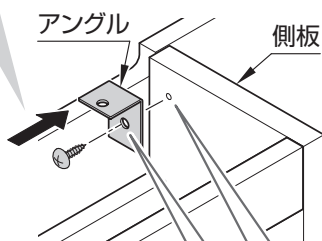
キャップ(上段カウンター)

④ 手締めで

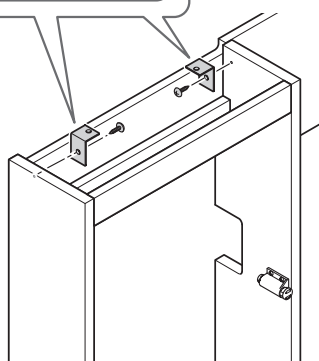


「付属材セット(手洗器)」同梱

トラスタッピンねじ
4×12(各1本)

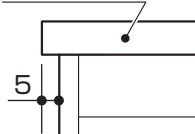


③ アングルの長辺の丸穴を
側板の下穴にあわせる

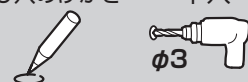


⑤ 上段横さんに載せる

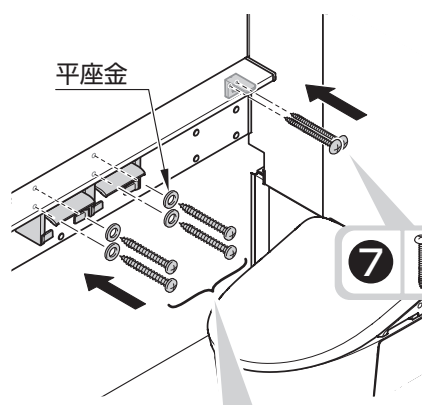
上段カウンター



⑥ ねじ穴のけがき → 下穴



φ3



⑦ トラスタッピンねじ
4×30(2本)

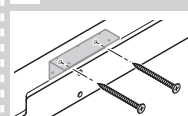
【樹脂製紙巻器の場合】

「ねじセット①」同梱

⑧ なべタッピンねじ
4.5×40(4本)

【メタル製紙巻器の場合】

皿タッピンねじ
4×40(2本)

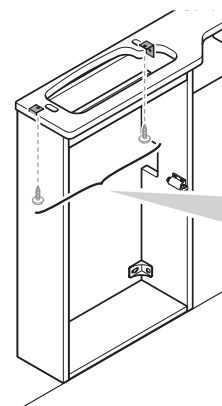


⑨ 手締めで



トラスタッピンねじ
4×12(2本)

「付属材セット(手洗器)」同梱



⑩ 固定扉に当てる

固定扉側

キャップ(上段カウンター)

⑪ 手締めで



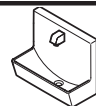
本固定

手洗器タイプにより取付手順が異なります、各手順へ進んでください

ベッセルタイプ



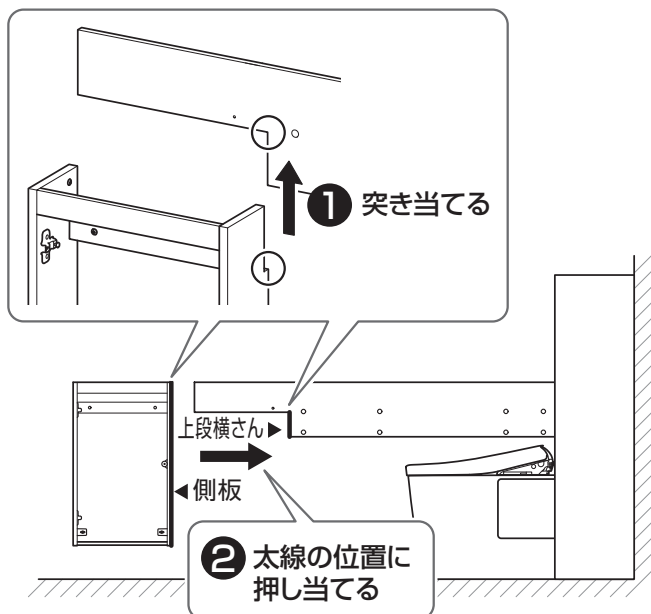
ハイバックタイプ



P.74へ

4 手洗器キャビネットの取り付け へ

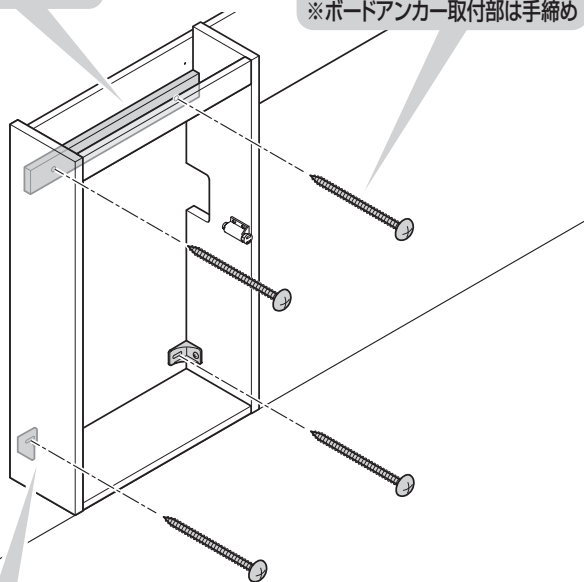
4 手洗器キャビネットの取り付け



③ 水平確認



⑤ トラスタッピンねじ 4×50 (4本)
「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め



④

※【壁裏補強なしの場合(下2カ所)】

設置壁に → 下穴※



φ3

設置壁に → 下穴 → ボードアンカー (オプション)

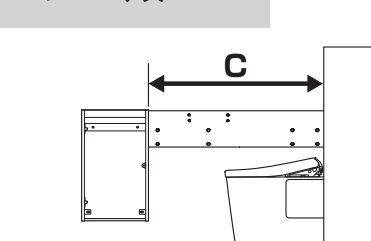


φ10



5 カウンター類のカット

① 測定



② けがき



奥行寸法C	-	規定寸法	=	けがき寸法E
		4		

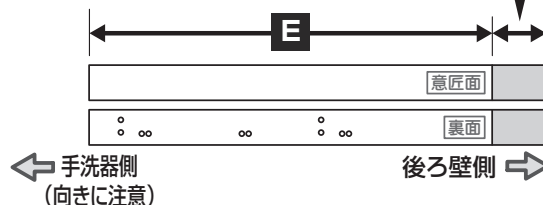
【下段カウンター】

③ カット



- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



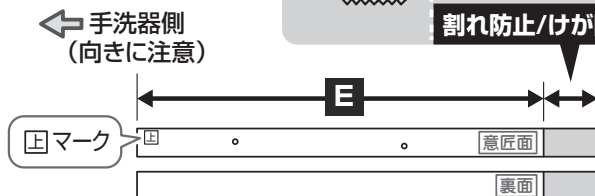
【下段横さん】

④ カット

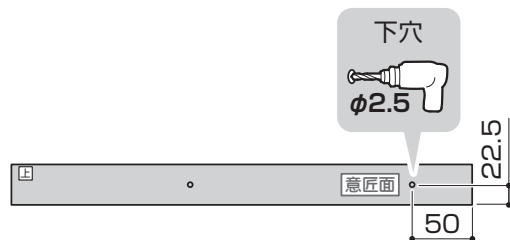


- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止



E寸法が～720mmの場合

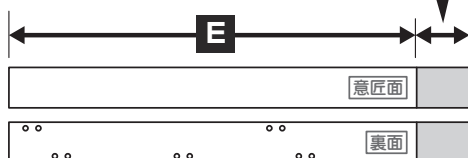


【幕板】

⑤ カット

- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

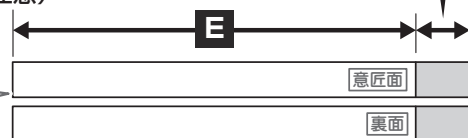
← 手洗器側
(向きに注意)

【上段カウンター】

⑥ カット

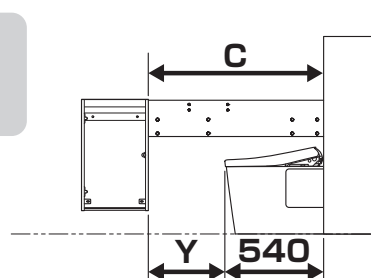
- ・意匠面からカットすること
- ・カット面は滑らかに仕上げること

割れ防止/けが防止

← 手洗器側
(向きに注意)Rがついて
いる方が前

6 上段カウンター部材のけがき

① 測定



C寸法

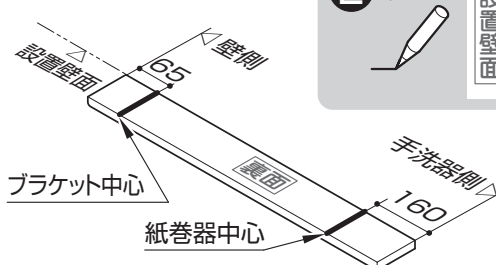
規定寸法

Y寸法

540

Y寸法が～350mmの場合

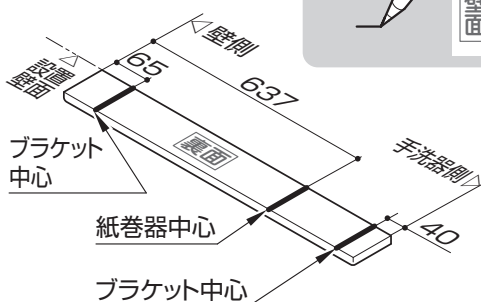
② けがき



※右勝手の場合は左右対称

Y寸法が351mm～の場合

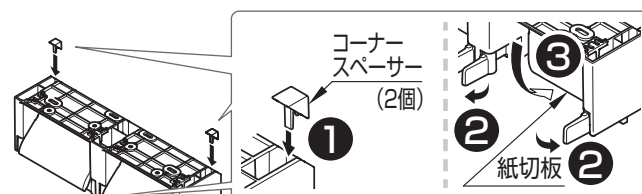
② けがき



※右勝手の場合は左右対称

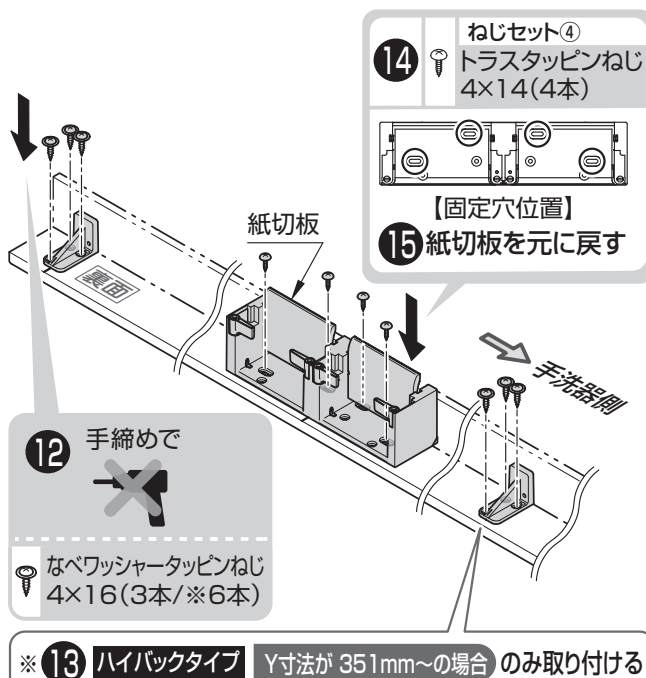
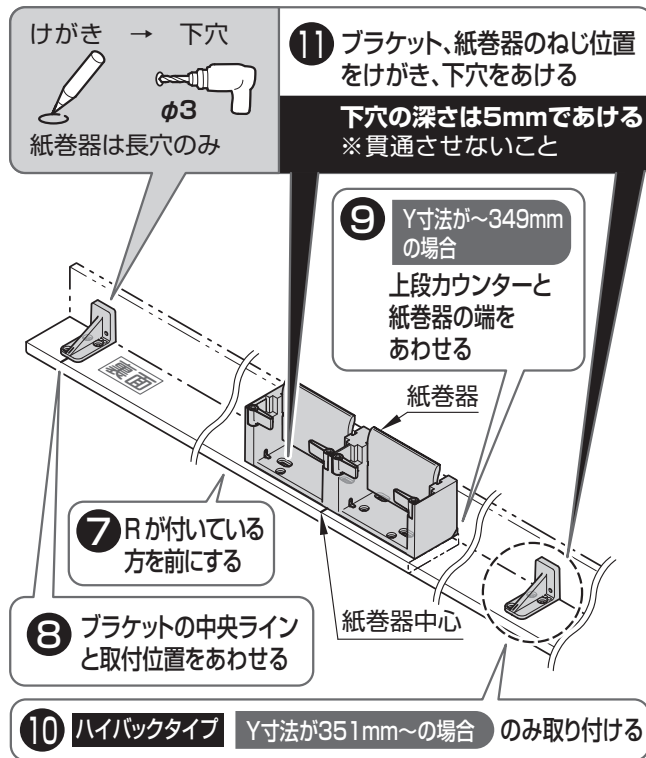
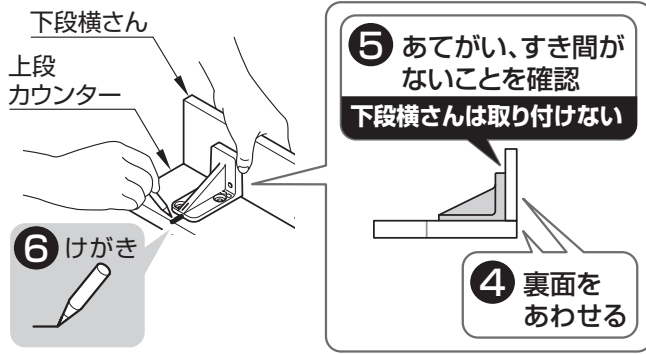
7 紙巻器・ブラケットの取り付け

樹脂製紙巻器の場合



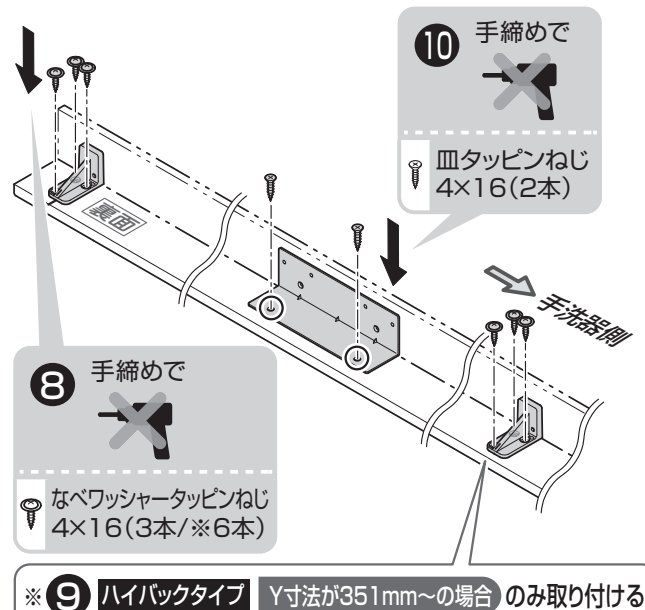
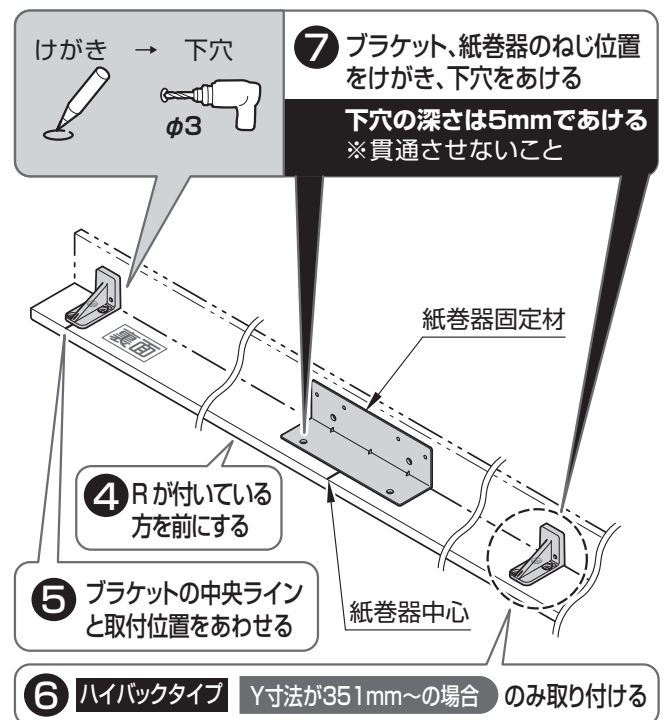
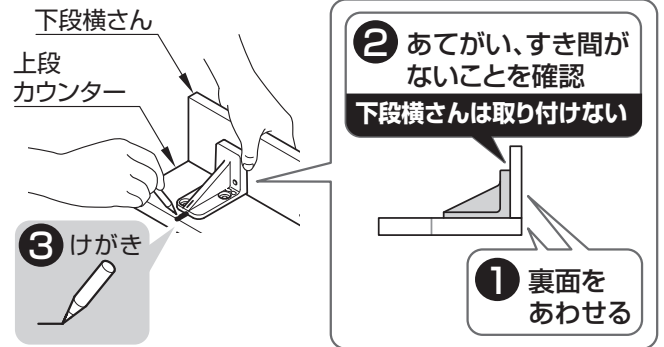
13

手洗器キャビネット・カウンター・幕板



メタル製紙巻器の場合

※紙巻器の取り付けは、「18. 仕上げ」にて行います。
(▶P.106)



8 上段カウンターの取り付け

① 上部に切り欠きがないもの
を取り付ける

切り欠きなし

切り欠きあり



カット面 ピッタリ

けが防止

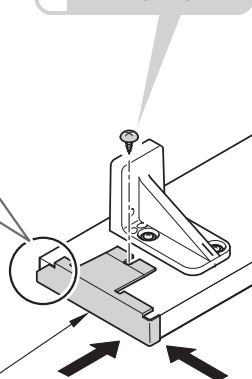
キャップ(上段カウンター)

② 手締めで



仮固定

トラスタッピンねじ
4×10(1本)

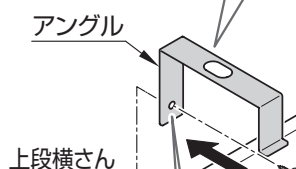
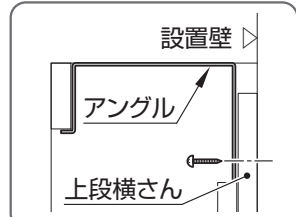


④ 手締めで

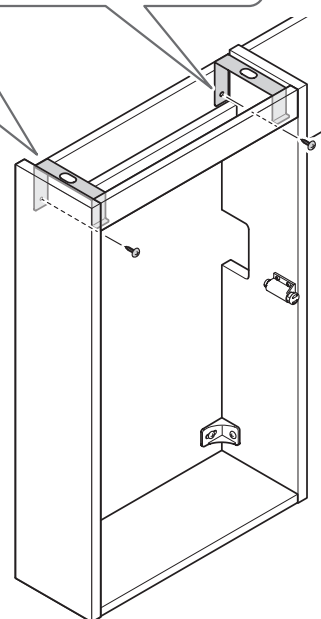


「付属材セット(手洗器)」同梱

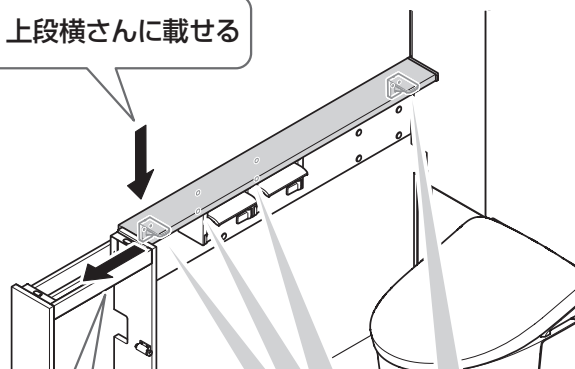
トラスタッピンねじ
4×12(各1本)



③ アングルの長辺
の丸穴を側板の
下穴にあわせる



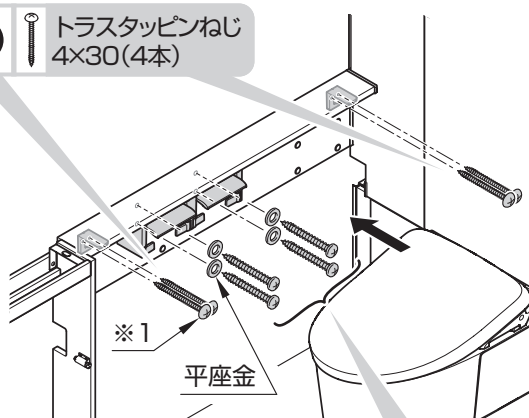
⑤ 上段横さんに載せる



⑥ 手洗器キャビ
ネットに押し当て

⑦ ねじ穴のけがき → 下穴
φ3

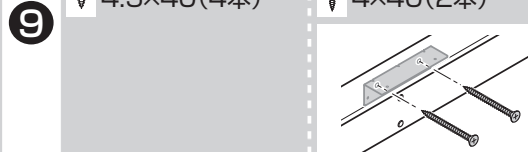
⑧ トラスタッピンねじ
4×30(4本)



【樹脂製紙巻器の場合】 【メタル製紙巻器の場合】
「ねじセット①」同梱

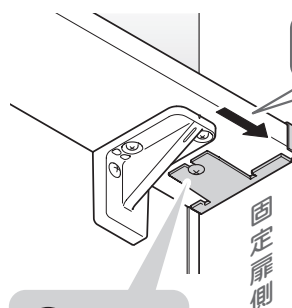
⑨ なべタッピンねじ
4.5×40(4本)

皿タッピンねじ
4×40(2本)



※1 Y寸法が〜350mmの場合は手洗器側のブラケットなし

⑩ 固定扉に当てる



⑪ 手締めで



本固定

13

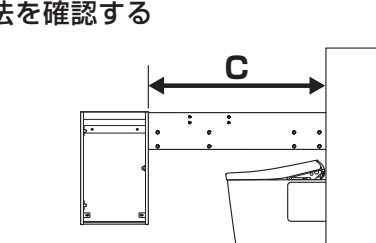
手洗器キャビネット・カウンター・幕板

これより先は各手洗器タイプ共通手順となります



9 下段カウンター部材の取り付け

① C寸法を確認する



② ブラケットの裏面に下段横さんをあてがう

下段横さん

下段カウンター

すき間なし

裏面をあわせる

③ 手締めで



【ブラケット用】
なべワッシャータッピンねじ
4×16(4本)

下穴あり

※1

④ 手締めで



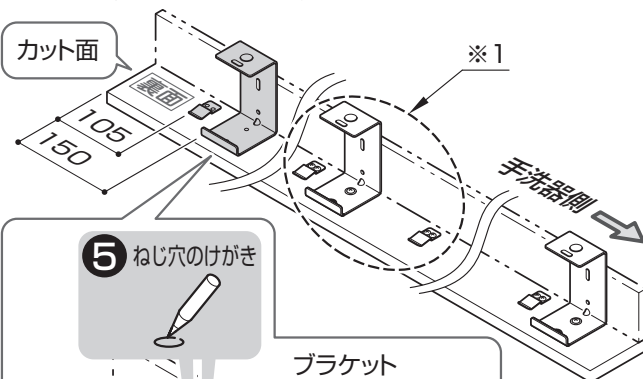
【取付材用】
トラスタッピンねじ
4×10(6本)

手洗器側

※1 C寸法が 765mm ~ の場合のみ

C寸法が~764mmまたは921mm~の場合

※1 C寸法が765mm~の場合のみ

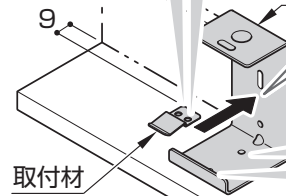


⑤ ねじ穴のけがき



ブラケット

⑥ 押し当てる



⑦ ねじ穴のけがき

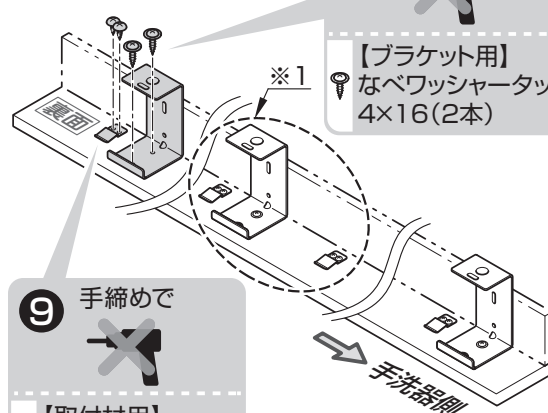


取付材

⑧ 手締めで



【ブラケット用】
なべワッシャータッピンねじ
4×16(2本)



⑨ 手締めで

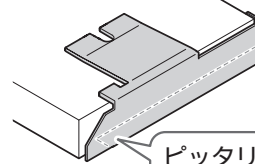


【取付材用】
トラスタッピンねじ
4×10(2本)

⑩ 上部に切り欠きがあるものを取り付ける

切り欠きあり

切り欠きなし



ピッタリ

けが防止

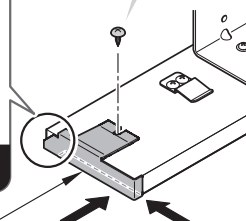
キャップ(下段カウンター)

⑪ 手締めで



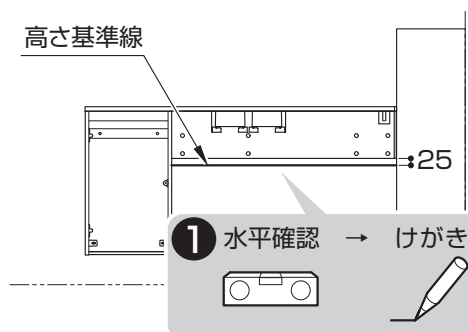
仮固定

トラスタッピンねじ
4×10(1本)



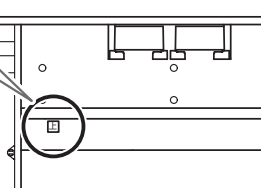
10 下段横さんの取り付け

※図はベッセルタイプ(丸形/角形)の場合

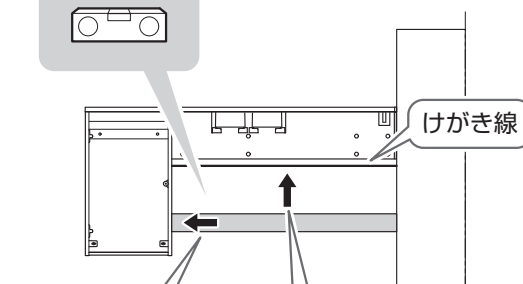


向きに注意すること

☒ マークを手洗器側に



4 水平確認



3 キャビネット側板に当てる

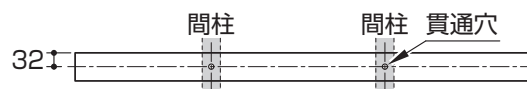
※ハイバックタイプの場合、キャビネット外側の側面と下段横さんの端面をあわせる

2 下段横さんの上端を けがき線にあわせる

壁裏補強なしの場合

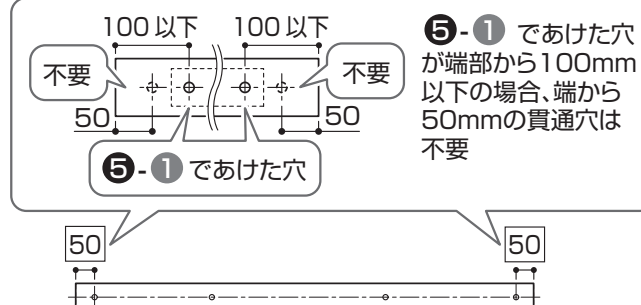
5-1

貫通穴
(壁にあげない) 間柱にあわせる



5-2

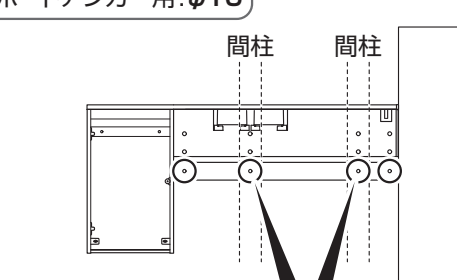
貫通穴
(壁にあげない) 追加で貫通穴をあける



6 けがき → 下穴 → ボードアンカー(オプション)



ねじ取付用: φ3
両端ボードアンカー用: φ10

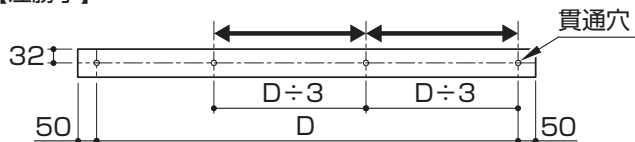


間柱にはねじ固定
(ボードアンカーは取り付けない)

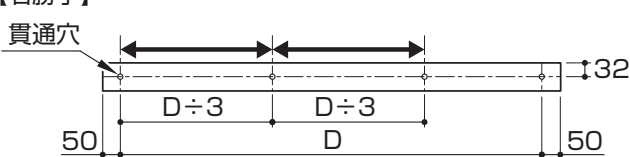
壁裏補強ありの場合

- 5** 貫通穴
(壁にあけない)
φ5
(4カ所)

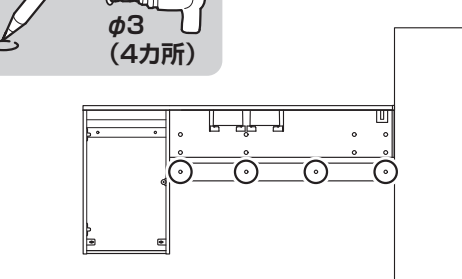
【左勝手】



【右勝手】

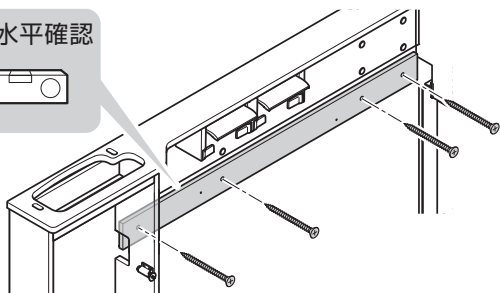


- 6** けがき → 下穴
φ3
(4カ所)



壁裏補強なし/壁裏補強あり 共通

- 7** 水平確認



- 8** 皿タッピン
ねじ
4×40

※ボードアンカー取付部
は手締め

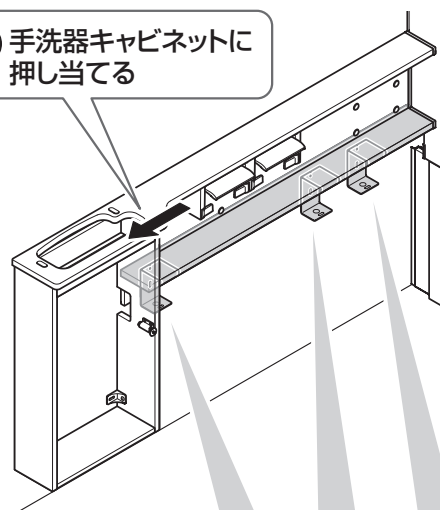
【壁裏補強ありの場合】
4本

【壁裏補強なしの場合】
カウンターの長さ、間柱数
により使用本数が異なる

11 下段カウンター取り付け

※図はベッセルタイプ(角形)の場合

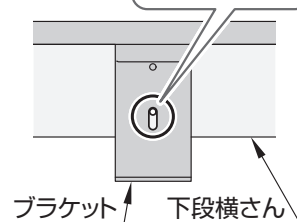
- 1** 手洗器キャビネットに
押し当てる



- 2** けがき → 下穴
φ3

下段横さんに載せて
下側の長穴にけがき、
下穴をあける

長穴の上側を
ねらってあける



ブラケット 下段横さん

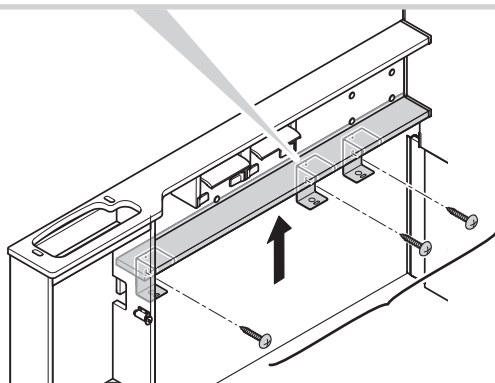
⑤ トラストッピンねじ 4×20(3本)

④ ブラケット
下側のねじ
を固定

③ 上段
横さんに
押し当てる

ブラケット

上段横さん



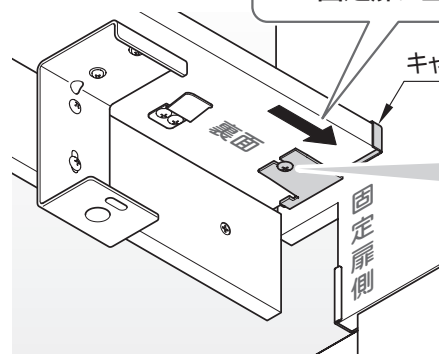
⑧ キャップ(下段カウンター)を 固定扉に当てる

キャップ(下段カウンター)

⑨ 手締めで



本固定



取付イメージ

【側面図】

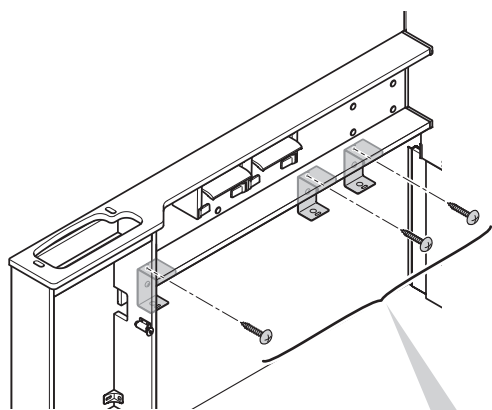
ブラケット

上段横さん

すき間0

下段カウンター

下段横さん



⑥ けがき → 下穴



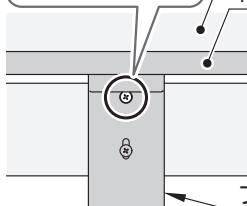
φ3

ブラケット上側の
ねじを固定

上段横さん

下段カウンター

ブラケット



⑦ トラストッピン ねじ 4×20(3本)

必ず実施してください

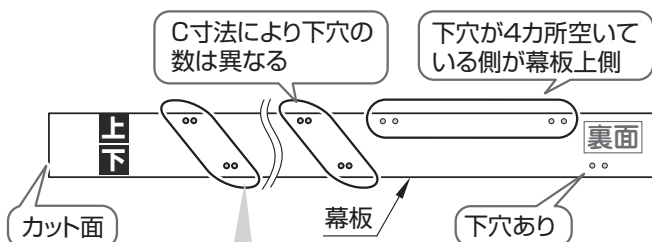
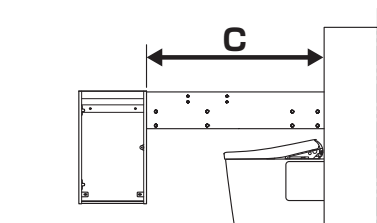
上段横さんと下段カウンターにすき間がある場合は ③ に
戻って長穴で調整する

MEMO

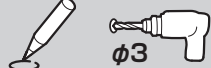
12 幕板部材の取り付け

① C寸法を確認する

※C寸法が765mm～959mmの場合は③へ
 ※右勝手の場合、左右反転した形状となります。

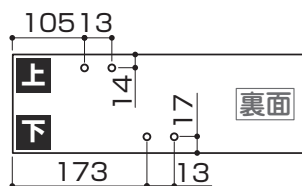


② けがき → 下穴



アングルの取付位置をけがき、
 下穴を深さ5mmであける

※貫通させないこと



③ 手締めで

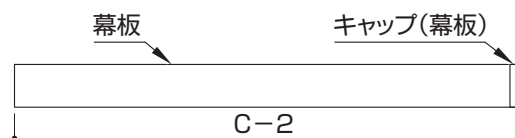
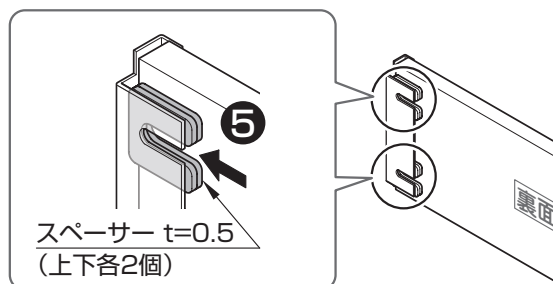
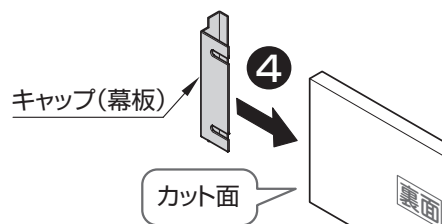
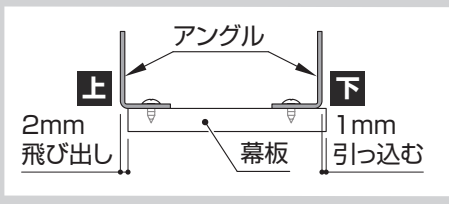


トラストタッピンねじ
 4×10(14本)



※1 C寸法が765mm～の場合のみ

完成図



⑥ 測定

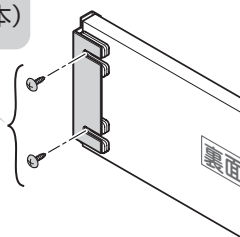


キャップの位置を調整する

⑦ 手締めで



トラスト
 タッピンねじ
 4×10(2本)



14. 手洗器・水栓金具

使用部材



詰め合わせ箱

施工説明書



型紙

※ベッセルタイプ(丸形/角形)の場合は使用しません。



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

付属材セット (手洗器)

【ベッセルタイプ(丸形/角形)】

付属材セット(手洗器)

クリップナット
(2個)

ばね座金
M6(2個)

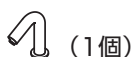
付属材セット

寸切ボルト
M6×65
(2本)

ローレット
ナットM6
(2個)
平座金
M6(4個)

クッション材
(1個)

自動水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)

【ハイバックタイプ】

付属材セット(手洗器)

クリップナット
(2個)

ばね座金
M6(2個)

付属材セット

寸切ボルト
M6×40
(2本)

ローレット
ナットM6
(2個)
平座金
M6(4個)

クッション材
(1個)



取付材
(2個)

ハンドル式水栓



(1個)

※図はベッセルタイプ(角形)



その他包装

カウンター

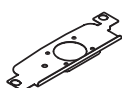
取付材セット(排水ソケット)

【ベッセルタイプ(丸形)】

【ベッセルタイプ(角形)】

【ハイバックタイプ】

※図はベッセルタイプ(角形)



取付材
(1個)

座金組込
なべ小ねじ
4×12(4本)

排水ソケットセット



排水ソケット
(1個)



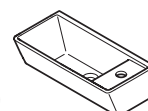
パッキン(排水口)
(1個)

手洗器

【ベッセルタイプ(丸形)】

【ベッセルタイプ(角形)】

【ハイバックタイプ】



(1台)

※図はベッセルタイプ(角形)

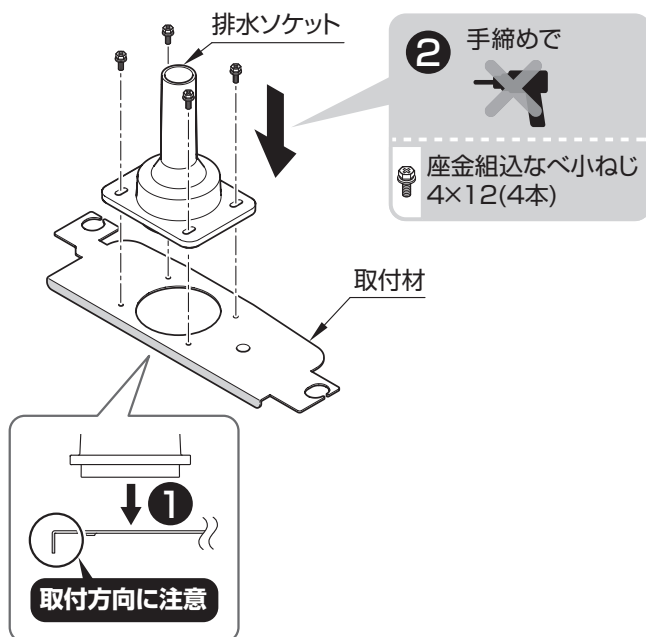
1 排水ソケットの組み付け

⚠ 注意



必ず守る

取付後、排水ソケットと取付材の間にすき間がないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



2 クッション材のはり付け

- 1 はり付け面の汚れ・ホコリなど十分にふき取る
- 2 クッション材のセパレータをはがしながら、下記の位置にクッション材をはり付ける

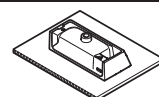
⚠ 警告



必ず守る

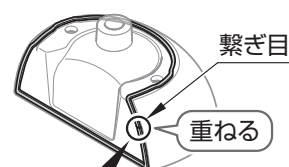
クッション材のはり付けは確実に行う
水などが浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

- ・手洗器上面を下側にする際は、ダンボールなどを敷く
手洗器に傷が付かないようにしてください。
- ・手洗器の内側コーナー部に
あわせてはり付ける
設置後にクッション材がはみ出す
ことがあります。



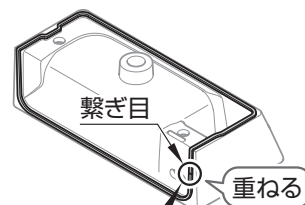
内側コーナー
部にあわせる
クッション材

ベッセルタイプ (丸形)



繋ぎ目は裏側(すき間をあけないこと)

ベッセルタイプ (角形)



繋ぎ目は裏側(すき間をあけないこと)

ハイバックタイプ

- 6 手洗器の取り付けで実施 (▶ P.84)

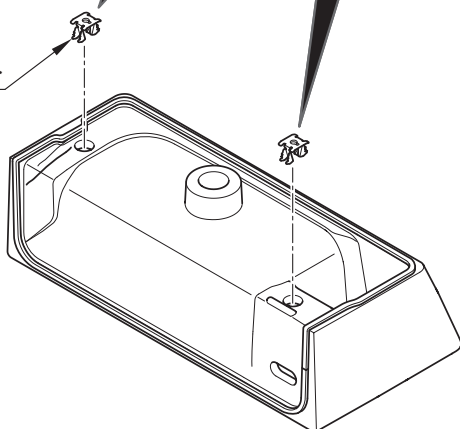
3 手洗器の組み立て

- ① 平らな面に手洗器とのすき間がなくなるまで、
しっかり押し込む



施工不良防止

クリップナット



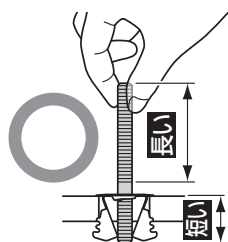
- ② 手締めで 【ベッセルタイプ(丸形／角形)の場合】



寸切ボルト
M6×65(2本)

【ハイバックタイプの場合】

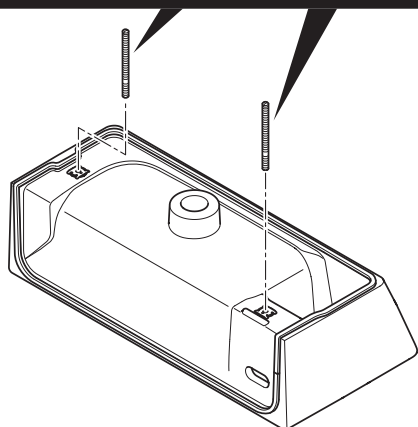
寸切ボルト
M6×40(2本)



軽く手でつまんで、入るまで締める

- ・寸切ボルトをドライバーで深く
締めない
- ・斜めに入ったねじを無理に真っす
ぐにしない

施工不良防止



4 パッキン(排水口)の取り付け

⚠ 注意



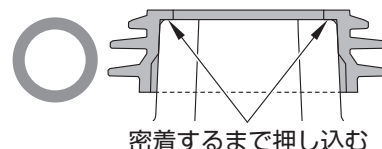
禁止

パッキン(排水口)にグリスを使用しない
劣化し水漏れして家財などをぬらす財産損害
発生の原因となります。

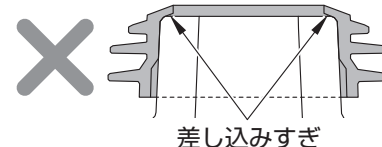


必ず守る

パッキン(排水口)は手洗器排水口に
密着するまで押し込む
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。



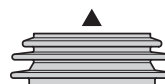
密着するまで押し込む



差し込みすぎ

- ① 手洗器排水口外周の
汚れを取り除き、
取り付ける

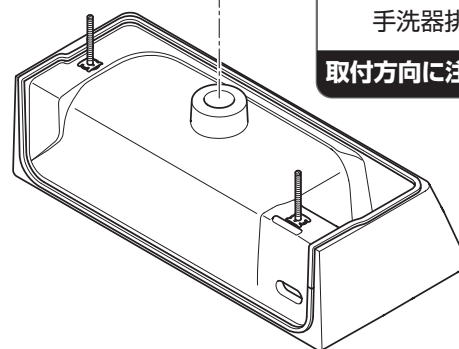
排水ソケット側



手洗器排水口装着側

取付方向に注意

パッキン(排水口)



ベッセルタイプ(丸形)の場合	▶P.82
ベッセルタイプ(角形)の場合	▶P.83
ハイバックタイプの場合	▶P.84

ベッセルタイプ(丸形)

5 手洗器の取り付け

① バックパネル(オプション)の取り付けは、手洗器固定前に行う

参照 バックパネルの施工説明書

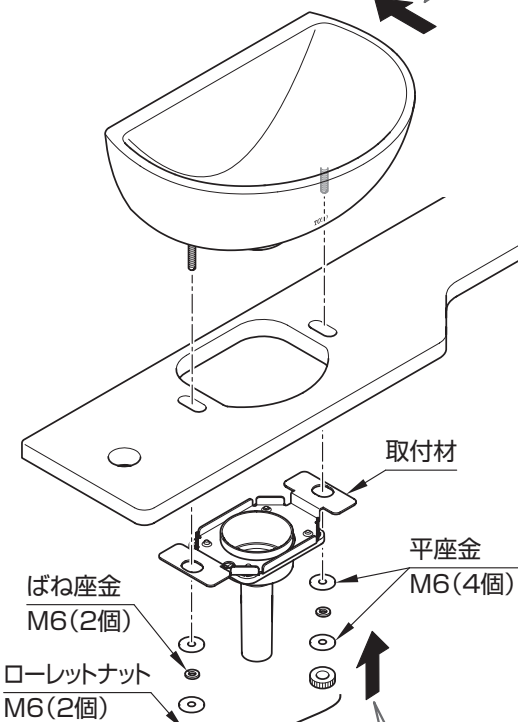
注意



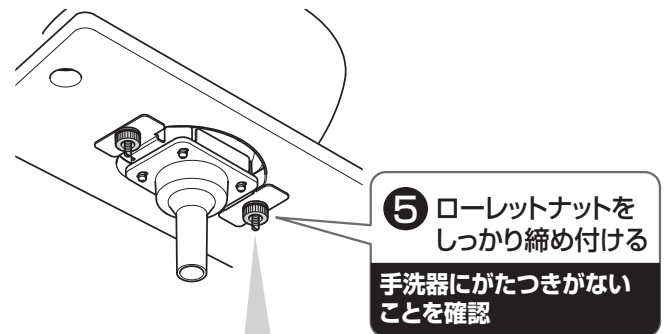
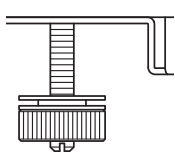
必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

② 壁側に押し当てながら取り付ける



③ 寸切ボルトの先端が見えるまでローレットナットを入れる



④ 手締めで しっかりと寸切ボルトを締め込む
※締め付時、手洗器との摩擦音があります。

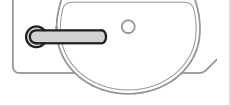
できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けができれば問題ありません。

6 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書

吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

② 動かないことを確認

吐水口の向き

水栓本体

パッキン

忘れないこと

菊座金

ナット

パッキン

忘れないこと

フレキホース

ナット締め付工具を使用すると作業が
しやすくなります



(別売品)

① 部材を組み立てる

➡ P.86 15. 給排水部材(手洗器)へ

ベッセルタイプ(角形)

5 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

参照 自動水栓の施工説明書



吐水口の向き



ハンドル式水栓の場合

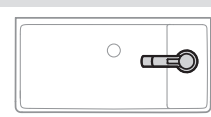
② 動かないことを確認

水栓本体

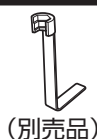
パッキン

忘れないこと

吐水口の向き



① 部材を組み立てる

ナット締付工具を
使用すると作業が
しやすくなります

(別売品)

菊座金
ナット

6 手洗器の取り付け

バックパネル (オプション) ありの場合

① 手洗器を仮置きし、取付材組品(バックパネル)を取り付ける

参照 バックパネルの施工説明書

各タイプ共通

⚠ 注意



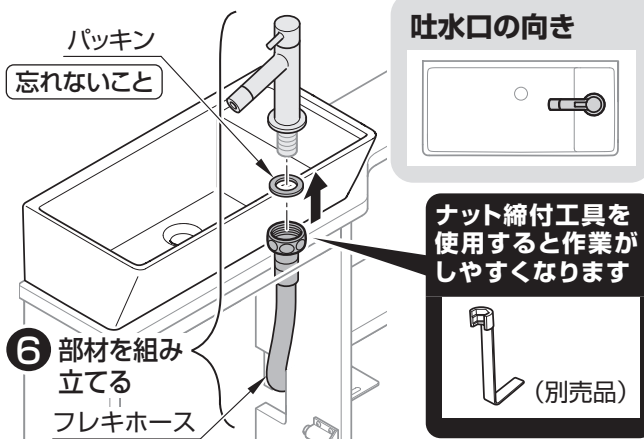
禁止

水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。

必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害
発生の原因となります。

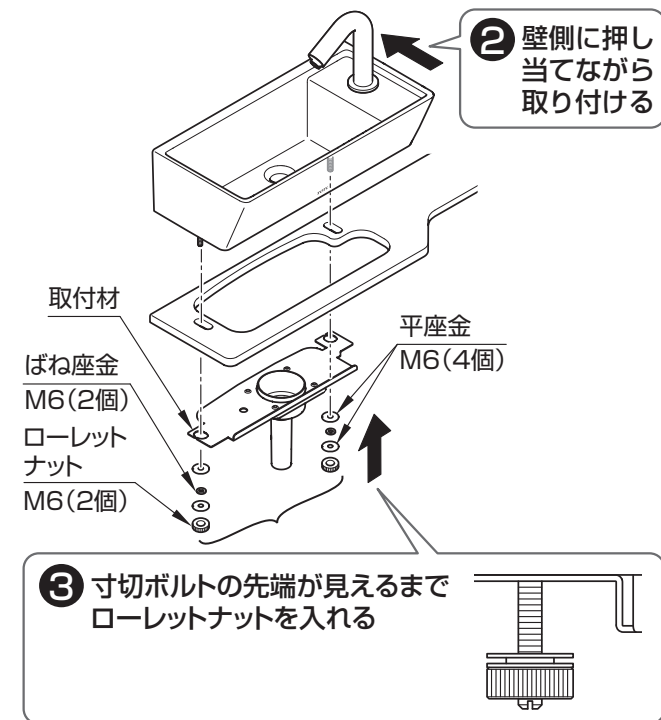
ハンドル式水栓の場合

⑥ 部材を組み
立てる
フレキシホース

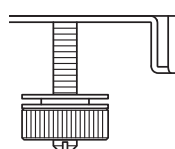
バックパネル (オプション) ありの場合

⑦ バックパネルを取り付ける

参照 バックパネルの施工説明書

② 壁側に押し
当てながら
取り付ける

取付材

ばね座金
M6(2個)ローレット
ナット
M6(2個)平座金
M6(4個)③ 寸切ボルトの先端が見えるまで
ローレットナットを入れる⑤ ローレットナットを
しっかり締め付ける手洗器にがたつきがない
ことを確認

④ 手締めで

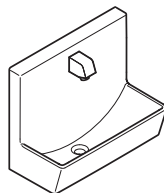
しっかり寸切ボルトを締め込む
※締め時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。できるだけ真すぐ入るよう、手を沿えて締め込む
※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

ハイバックタイプ

5 水栓金具の取り付け

自動水栓の場合

あらかじめ手洗器にセットされています。



ハンドル式水栓の場合

参照 ハンドル式水栓の施工説明書



2 けがき → 下穴※



※【壁裏補強なしの場合】

下穴 → ボードアンカー
(オプション)



取付穴位置

型紙

3 型紙を外す

4 トラスタッピンねじ 4×50(4本)

「付属材セット(手洗器)」同梱
※ボードアンカー取付部は手締め

取付材

1 ここにあわせる

5 側板の奥行きにあわせてカットし、 側板上部にはり付ける

側板からクッション材がはみ出さないようにする

クッション材

注意



水栓部分を持たない
給水金具が破損して水漏れし、財産損害発生
の原因となります。

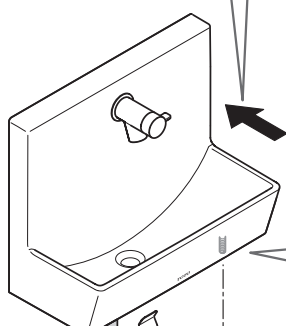
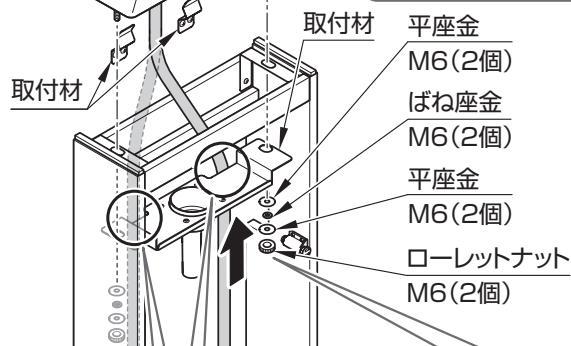
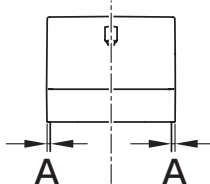


必ず守る

パッキン(排水口)がセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをぬらす財産損害
発生の原因となります。

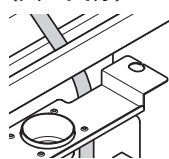
MEMO

⑥ 壁に押し当てる

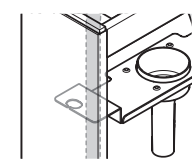
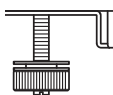
⑦ 手洗器を取付材に
差し込む⑧ 左右の位置を調整し
段差「A」が均等な
ようにする

⑨ 取付材にフレキホースを通す

【左勝手】
右側の切り欠きに通す
(図の実線)



【右勝手】
左側の切り欠きに通す
(図の破線)

⑩ 寸切ボルトの
先端が見える
までローレット
ナットを入れる⑫ ローレットナットを
しっかり締め付ける

手洗器にがたつきがない
ことを確認

⑪ 手締めで



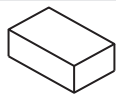
しっかり寸切ボルトを締め込む
※締め付時、手洗器との摩擦音が
なることがあります。

できるだけ真っすぐ入るよう、手を沿えて締め込む

※若干斜めになっても、ローレットナットの締め付けが
できれば問題ありません。

15. 給排水部材 (手洗器)

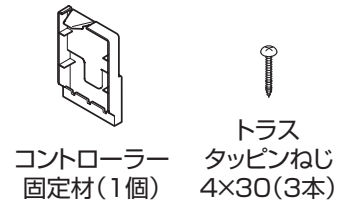
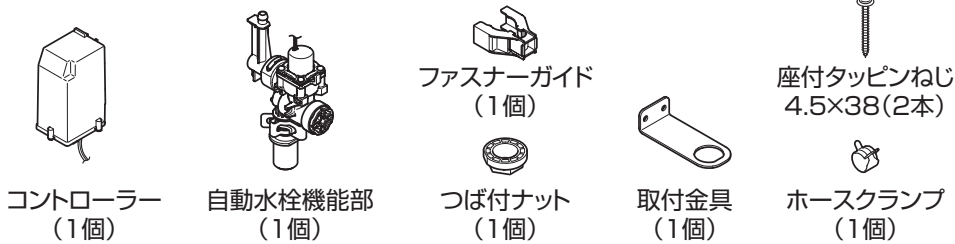
使用部材



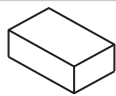
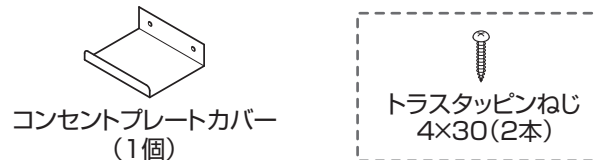
詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

自動水栓コントローラー部

コントローラー固定材セット



コンセントプレートカバー※電気温水器付の場合



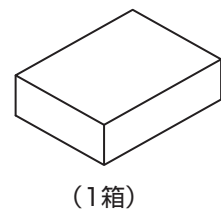
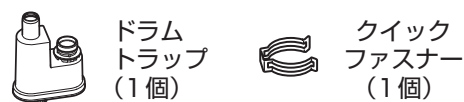
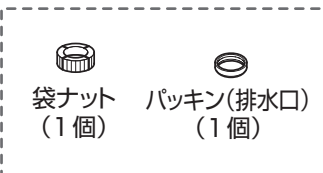
その他包装

カウンター

電気温水器※電気温水器付の場合

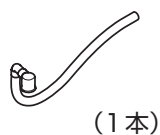
排水ソケットセット

ドラムトラップ組品



排水管組品

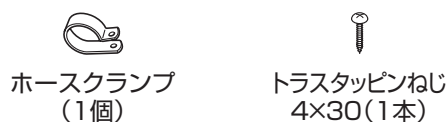
付属材セット



付属材セット (キャビネット)

ホースクランプセット

排水管固定材セット



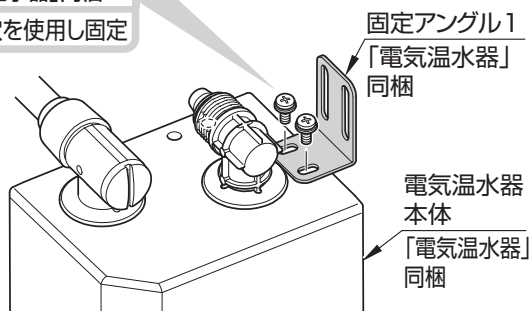
1 電気温水器の取り付け

電気温水器なしの
場合は **2** へ

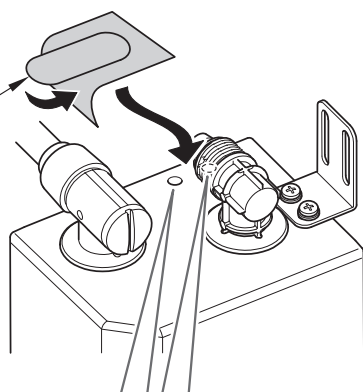
1 手締めで



座金組込なべ小ねじ
M4×10(2本)
「電気温水器」同梱
短辺側の穴を使用し固定

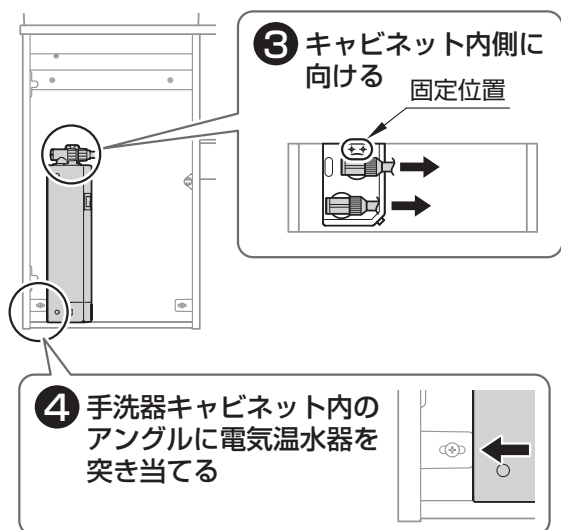


化粧ラベル
「電気温水器」同梱



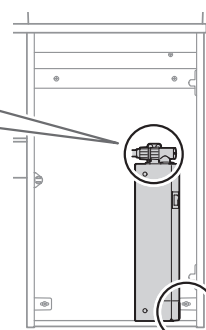
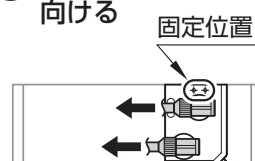
2 長辺側の穴に化粧ラベルをはりふさぐ

【左勝手】

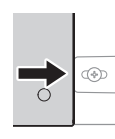


【右勝手】

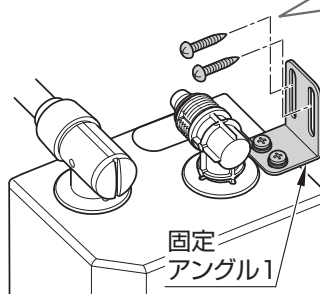
3 キャビネット内側に向ける



4 手洗器キャビネット内のアングルに電気温水器を突き当てる



5 壁に固定する※



なべタッピンねじ
4×30(2本)
「電気温水器」同梱

※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

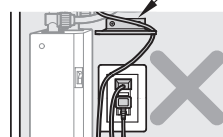
警告

電源コード・アース線は、キャビネットと電気温水器との間や、扉に挟まない
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

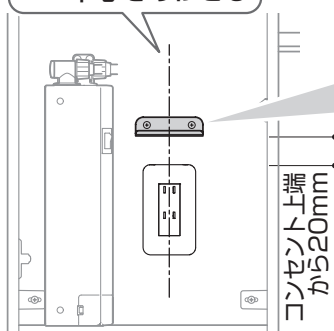


電源コードはコンセントプレートカバーの上を通さない
結露がコードを伝わりコンセントにかかり、火災や感電のおそれがあります。

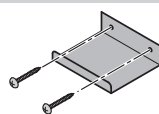
コンセント
プレートカバー



6 コンセントと中心をあわせる



7 トラスタッピンねじ 4×30(2本)



※【壁裏補強なしの場合】
下穴 → ボードアンカー
(オプション)



ボードアンカー取付部は手締め

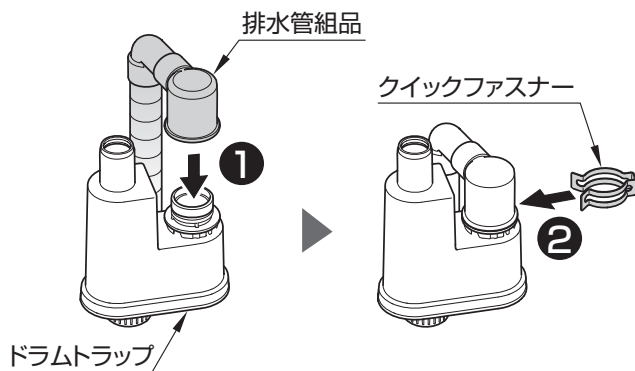
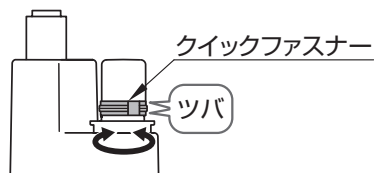
2 ドラムトラップの取り付け

⚠ 注意

- ・クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
- ・全周にツバがかかっていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生
の原因となります。

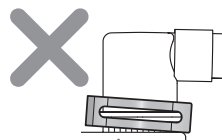
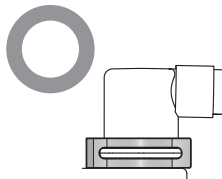


必ず守る

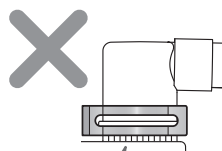


クイックファスナーの取り付けかた

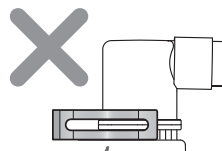
- ③ クイックファスナーが正しくセットされているか確認する



クイックファスナーが斜めにセットされている



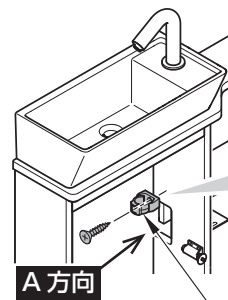
クイックファスナーが片側だけにセットされている



クイックファスナーが途中でセットされている

- ④ 排水管組品を強く引っ張って抜けないことを確認する

クイックファスナーを正しくセットする
排水管組品が抜けて水漏れのおそれがあります。

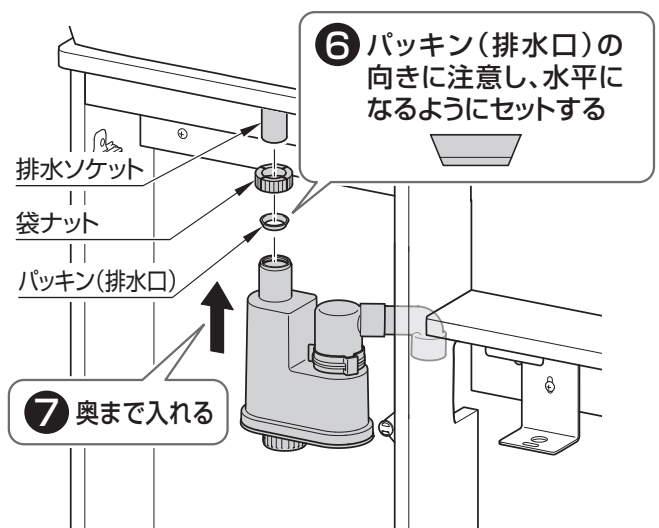
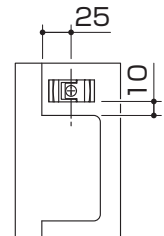


取付材
「付属材セット(キャビネット)
排水管固定材セット」同梱

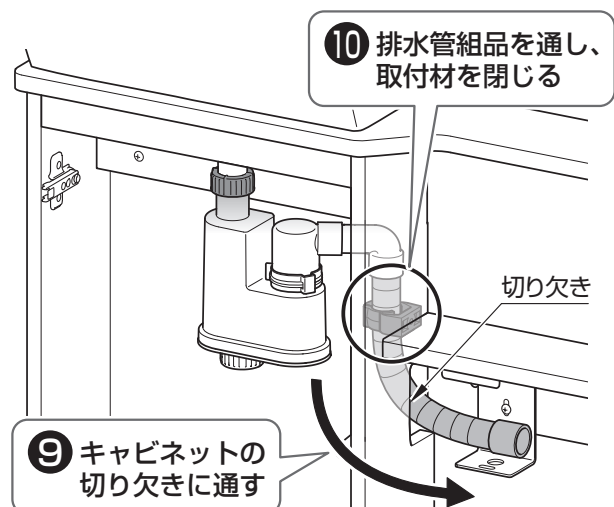
- ⑤ けがき → 下穴
φ3

手締めで
皿タッピンねじ
4×16(1本)

【A方向から見た図】

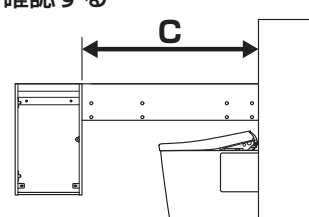


- ⑧ 各部の袋ナットを手で確実に締める
※手で軽く抵抗があるところまで回し、さらに90度以上
締め付けるのが目安です。



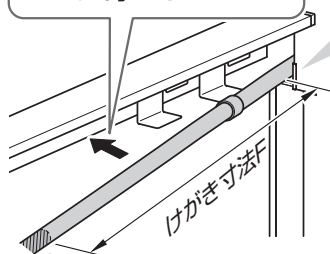
3 手洗器用排水ホースの取り付け

① C寸法を確認する



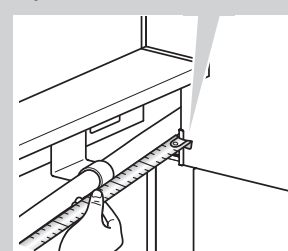
② 奥行寸法C - 規定寸法 180 = けがき寸法F

④ 上段カウンター側に寄せる



③ けがき

大便器キャビネットに
当て、けがく



⚠ 注意



必ず守る

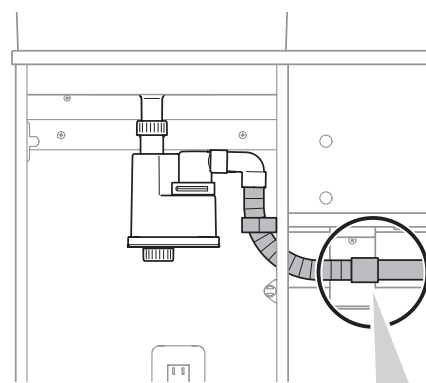
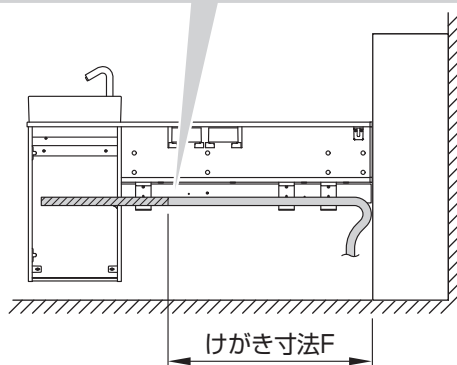
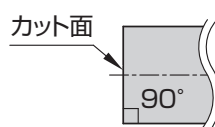
手洗器用排水ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
手洗器用排水ホースの断面が変形し、
水漏れして家財などをぬらす財産
損害発生の原因となります。



⑤ カット



手洗器用排水ホースは
垂直にカットする



⑥ 両面塗布

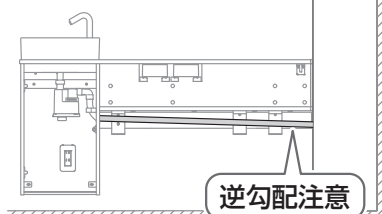


排水管組品

手洗器用
排水ホース

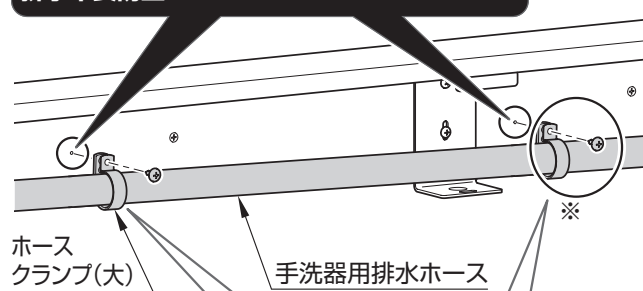
⑦

⑧ 逆勾配にならないように、必ず下段横さんの下穴に固定する



逆勾配注意

排水不良防止



ホース
クランプ(大)

手洗器用排水ホース

⑨ 固定する

手締めで



トラスタッピンねじ
4×12(2本)

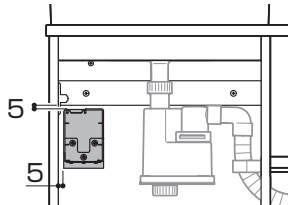
※C寸法が705mm~の場合のみ取り付け

4 コントローラー・機能部の取り付け

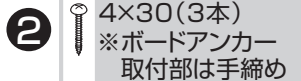
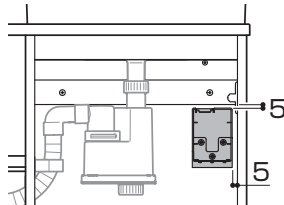
ハンドル式水栓の場合は **5** へ



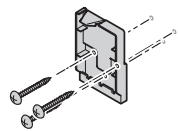
【左勝手】



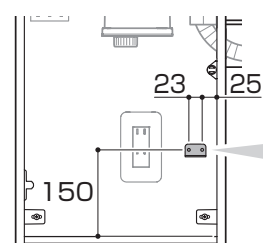
【右勝手】



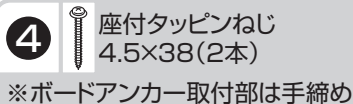
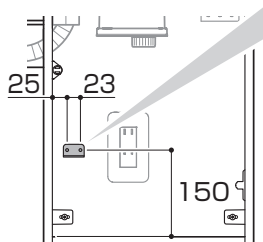
下穴あわせで固定する



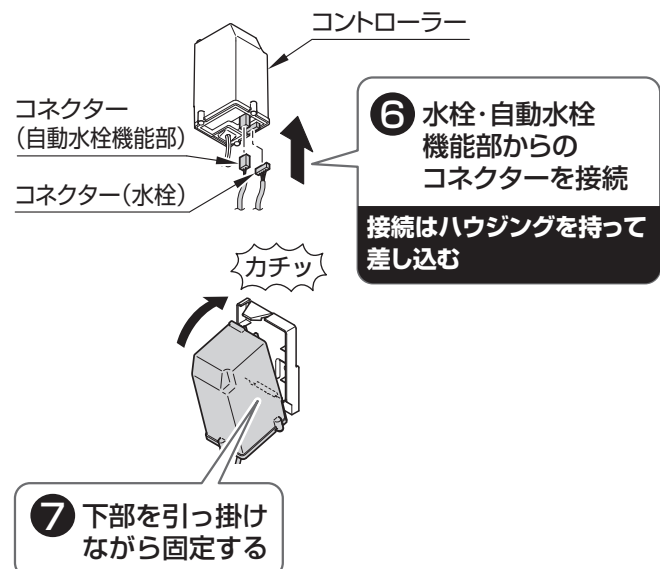
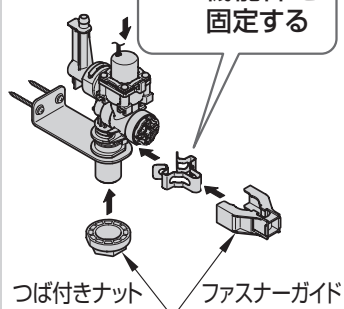
【左勝手】



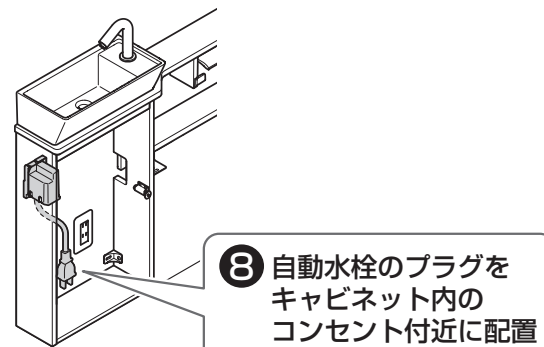
【右勝手】



5 自動水栓機能部を固定する



電気温水器ありの場合



電気温水器なしの場合



5 ホースの取り付け

⚠ 注意



必ず守る

- ・スパウト連結ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
- ・スパウト連結ホース接続後、確実に固定されていることを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
- ・スパウト連結ホースが確実に差し込まれているか確認する
- ・スパウト連結ホースが折れ曲がらないよう注意する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

90°

自動水栓（電気温水器あり）

①-① カット

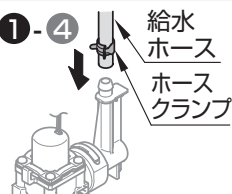


適切な長さに
カットする

給水口
継手

出湯口
継手

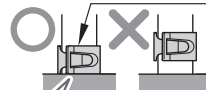
①-④



給水
ホース
ホース
クランプ

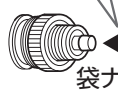
- ・ホースクランプは下図の位置にくるようにする
- ・必ずホースクランプでスパウト連結ホース、給水ホースを固定する

ホースクランプ



ホースクランプが
自動水栓機能部の
上面に付くこと

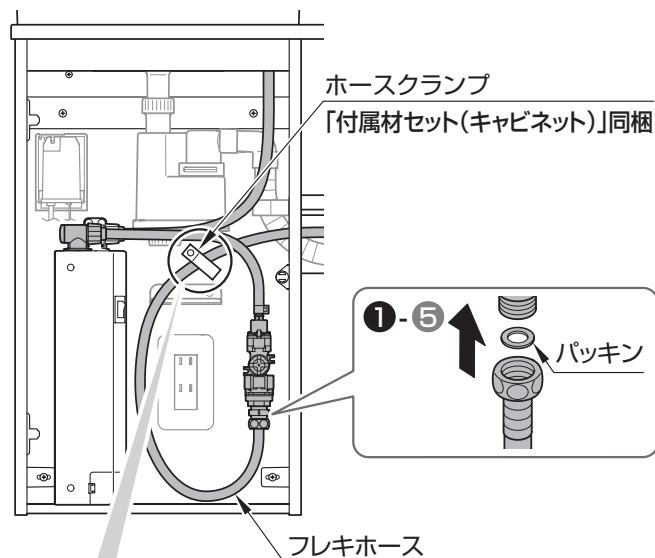
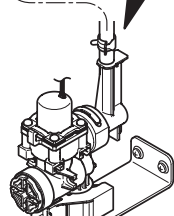
①-③ 差し込む



①-② 袋ナットを通す

袋ナット

スパウト
連結ホース



①-⑥

けがき → 下穴※

※【壁裏補強なしの場合】



φ3



φ10



けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)

ボードアンカー取付部は手締め

①-⑦

トラスタッピンねじ
4×30(1本)

🔧 P.92 ②へ

自動水栓 (電気温水器なし)

①-① カット 適切な長さにカットする

ホースクランプ
「付属材セット(キャビネット)」
同梱

①-② 給水
ホース
ホース
クランプ

・ホースクランプは下図の
位置にくるようにする
・必ずホースクランプで
給水ホースを固定する

ホースクランプ
ホースクランプが
自動水栓機能部の
上面に付くこと

①-③ ↑ パッキン

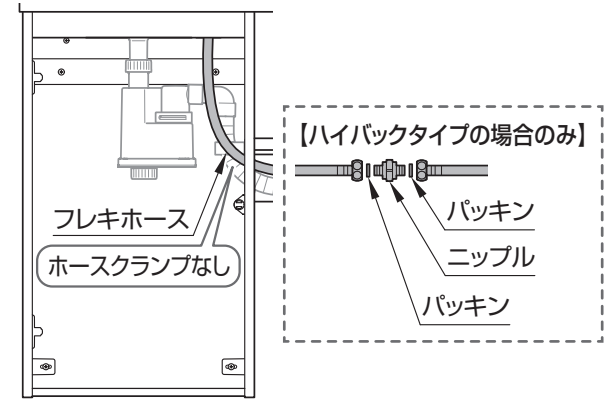
①-④
けがき → 下穴※ ※【壁裏補強なしの場合】
けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)
φ3 φ10
ボードアンカー取付部は手締め

①-⑤ トラストッピンねじ
4×30(1本)

同ページ ②へ

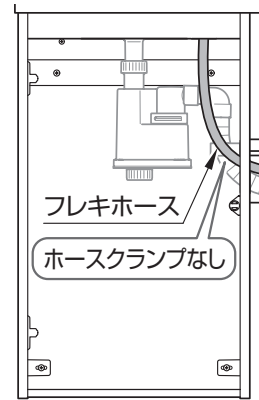
ハンドル式水栓

ベッセルタイプ (丸形) / ハイバックタイプの場合

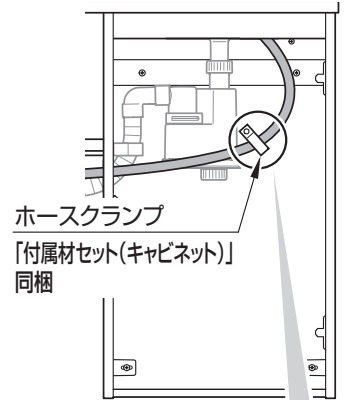


ベッセルタイプ (角形) の場合

【左勝手】



【右勝手】



①-①

けがき → 下穴※ ※【壁裏補強なしの場合】
けがき → 下穴 → ボードアンカー
(オプション)
φ3 φ10
ボードアンカー取付部は手締め

①-②

トラストッピンねじ
4×30(1本)

自動水栓/ハンドル式水栓 共通

結束バンド

② フレキホースを手洗器用
排水ホースの上に載せる

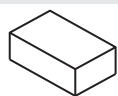
③ 固定する

※自動水栓の電源コードがある
場合は手洗器用排水ホースの
上に載せる

電源コード
フレキホース

16. 試運転・確認

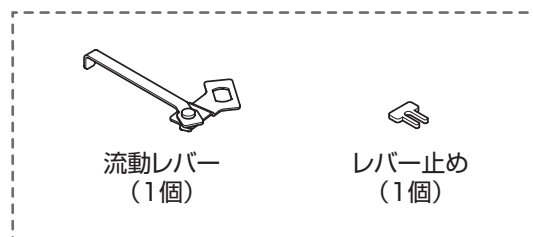
使用部材



コアキャビネット

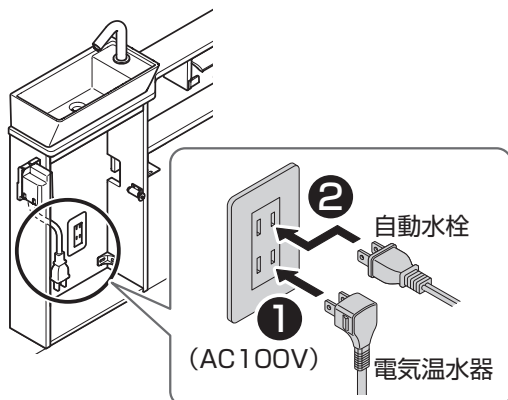
セットタンク

【流動方式の場合】

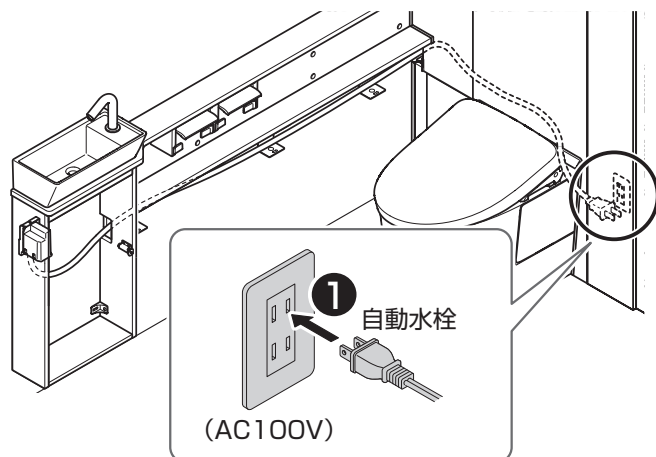


1 電源プラグの接続 自動水栓以外の場合は 2 へ

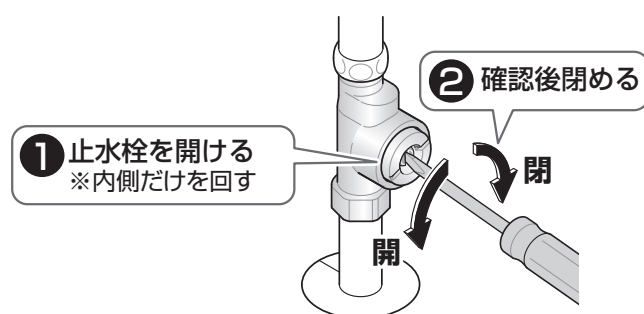
電気温水器ありの場合



電気温水器なしの場合



2 試運転の前準備

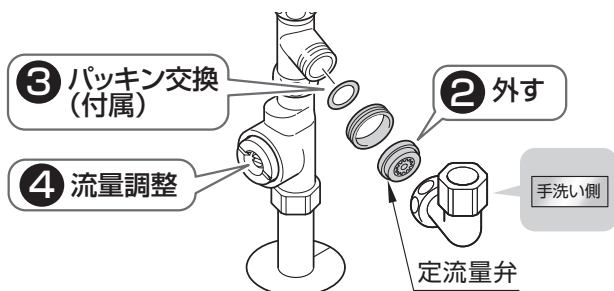


MEMO

3 水栓の吐水量確認

① 水栓の吐水確認をする

【吐水量が少ない場合】

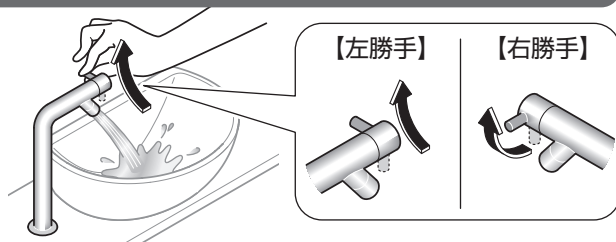


ベッセルタイプ (丸形)

自動水栓

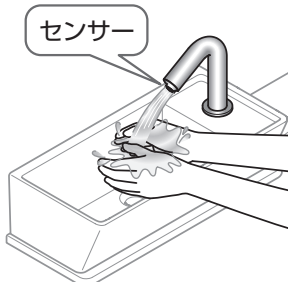


ハンドル式水栓

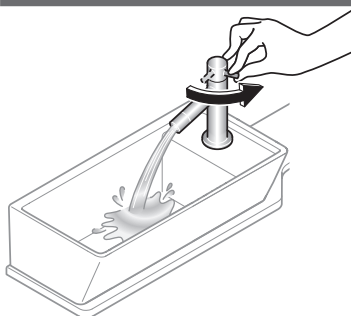


ベッセルタイプ (角形)

自動水栓

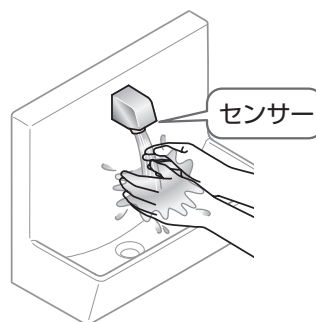


ハンドル式水栓

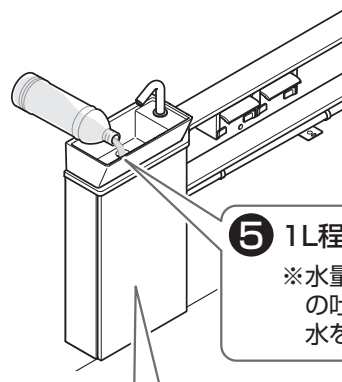
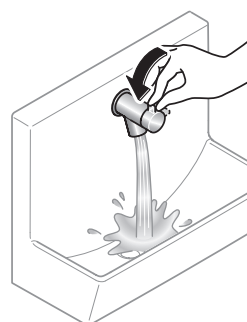


ハイバックタイプ

自動水栓

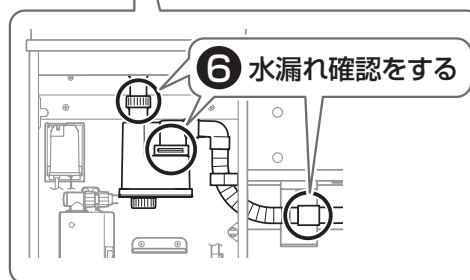


ハンドル式水栓



⑤ 1L程度水を流す

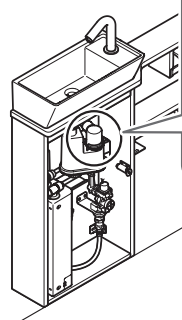
※水量が必要なため直前に手洗器の吐水確認をしても追加で水を流すこと



⑥ 水漏れ確認をする

⑧ 取り付ける ※カットしない

⑦ 差込口を 壁側に向ける



結束バンド

壁

4 電気温水器の吐水確認

① 電気温水器を試運転し、吐水確認を行う

参照 電気温水器の施工説明書

5 ウォシュレットの吐水確認

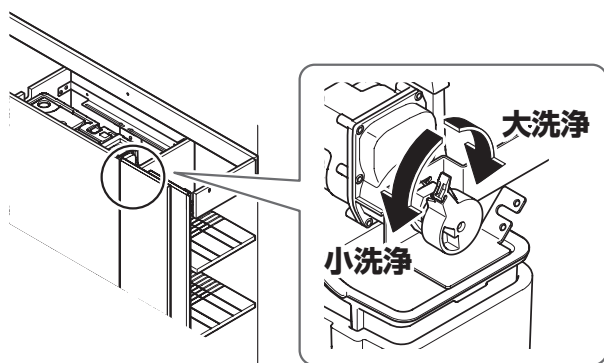
① ウォシュレットを試運転し、吐水確認を行う

参照 ウォシュレットの施工説明書

※試運転の前および試運転完了時は、必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
(ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。)

6 便器洗浄の確認

洗浄レバー



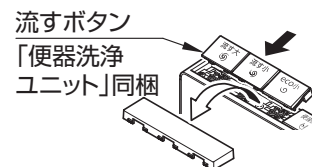
① 作動確認

コアキャビネット内の洗浄レバーを操作する

- ☐ 大・小洗浄とも正常に行われるか
- ☐ スムーズに回転するか

リモコン

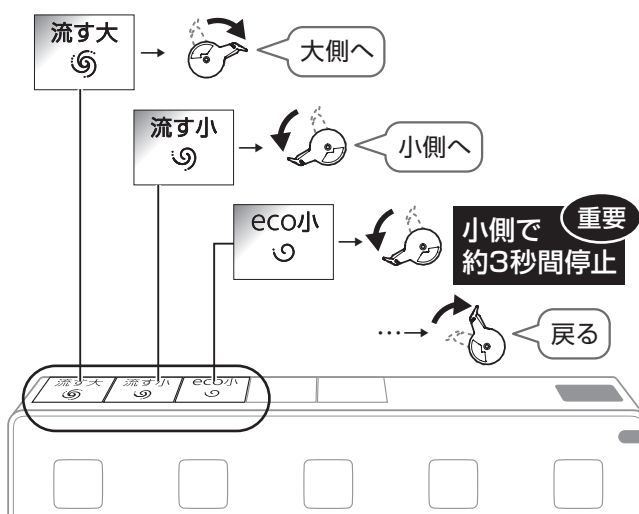
① 流すボタンが取り付けられているか確認する



参照 流すボタン取付説明書

② 作動確認

- ☐ 「大」・「小」・「eco小」のボタンを押して、それぞれの洗浄が正常に行われるか
- ※連続して押すと作動しません。
- 約10秒たってから、もう一度ボタンを押してください。



※機種によってデザインなどが異なります。

③ 試運転完了後、「運転入/切」が、「入」になっていることを確認する（「運転ランプ」点灯）

「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。

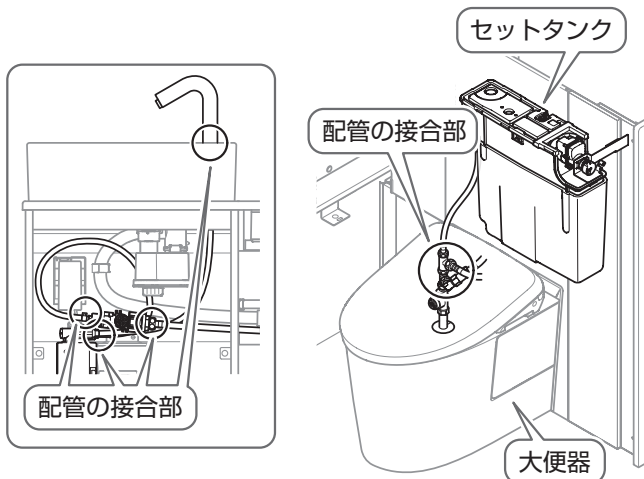
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」を切らないでください。

7 大便器・配管類の水漏れ確認

1 作動確認

2〜3度洗浄させて、水漏れなどがないことを確認する

- ☐ 給水ホースの接続箇所は正しいか
- ☐ 配管接合部からの水漏れがないか
- ☐ 大便器・セットタンクからの水漏れがないか



タンク内を調整する際のご注意

漏水防止カバーを外さない

制御筒に力を加えない
排水弁が浮いて、水が流れっぱなしになるおそれがあります。

水たまり面が低い場合の対応方法

8 水位の確認

必ず実施してください

正常な状態

設定変更不要です。



設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。

水たまり面が低い

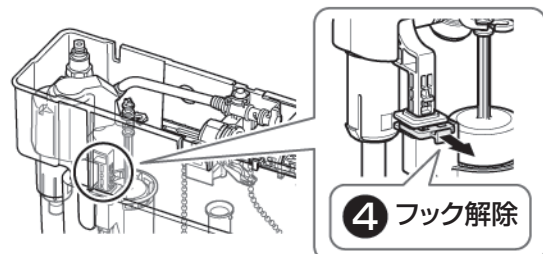
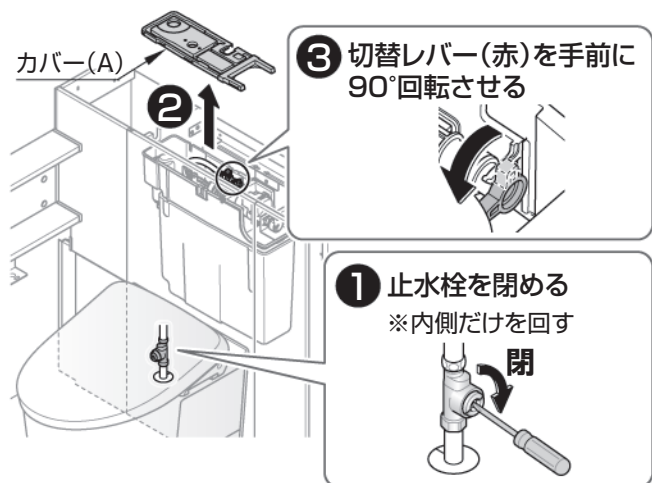
設定変更してください。

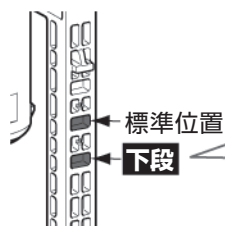
▶ 同ページ 右
「水たまり面が低い場合の対応方法」



汚物付着の原因になります。
〈水たまり面 低下の理由〉
・排水管に曲がりが多い
・通気が不十分

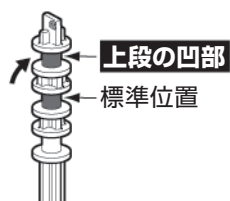
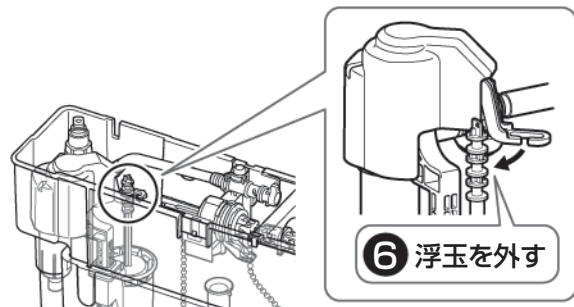
※水たまり面の判断に迷ったとき
ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。





5 下段にフックを差し込む

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



7 上段の凹部を取り付ける

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。

8 カバー(A)を元に戻す



9 完了後の確認

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

【変更前】

大洗浄	4.8L
小洗浄	3.6L
eco小洗浄	3.4L

大洗浄	6L
小洗浄	4.8L
eco小洗浄	4.6L

大洗浄	8L
小洗浄	7.5L
eco小洗浄	7L

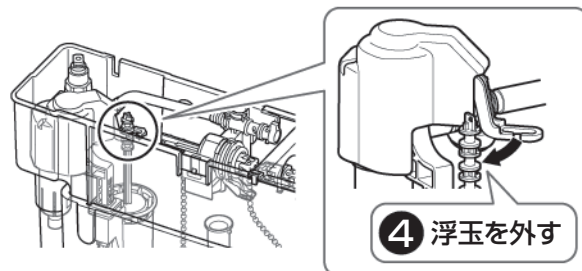
変更
できます。

大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法

1～3

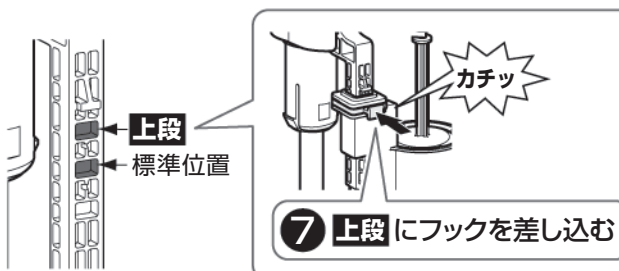
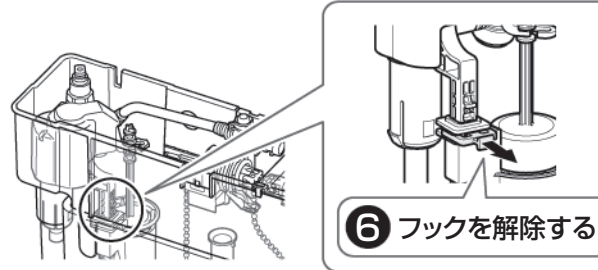
▶P.96 水たまり面が低い場合の対応方法 の

1～3を実施



5 下段の凹部を取り付ける

※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。



※位置を間違えると給水しない、もしくは給水が止まらないことがあります。

8 カバー(A)を元に戻す



9 完了後の確認

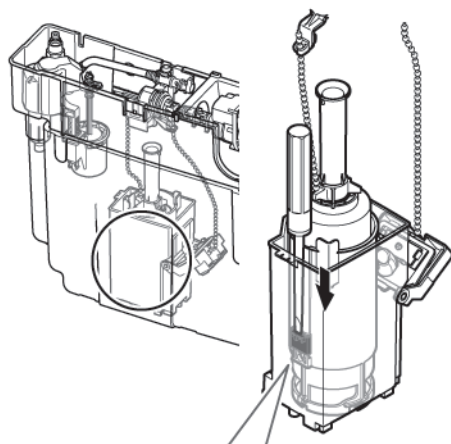
- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

大洗浄8L、小洗浄7.5L、eco小洗浄7L仕様への切替方法

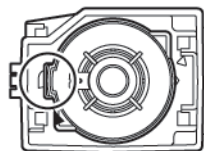
1～7

▶P.97 大洗浄6L、小洗浄4.8L、eco小洗浄4.6L仕様への切替方法 の

1～7を実施



8 先の長いマイナスドライバーを差し込み、切替弁を下げる



9 カバー(A)を元に戻す

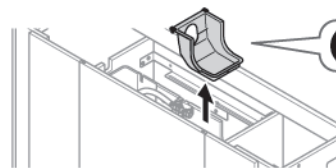


10 完了後の確認

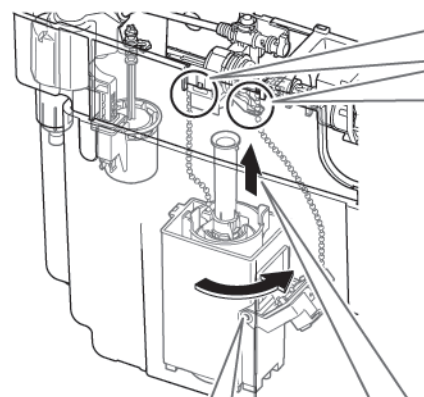
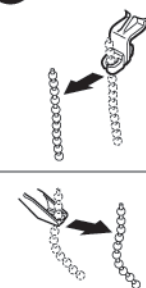
- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

切替弁を下げられなかった場合

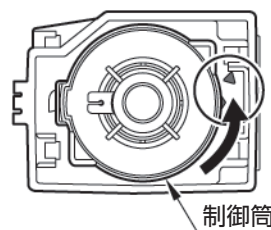
1 カバー(B)を外す



2 玉鎖を外す

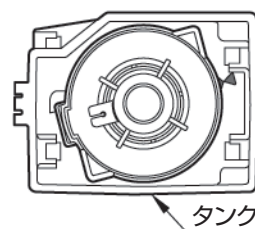


3 制御筒を反時計回りに回し▲をあわせる

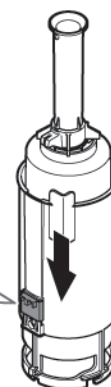


4 外す

※制御筒の取外時に
セットタンクに傷を
つけないこと

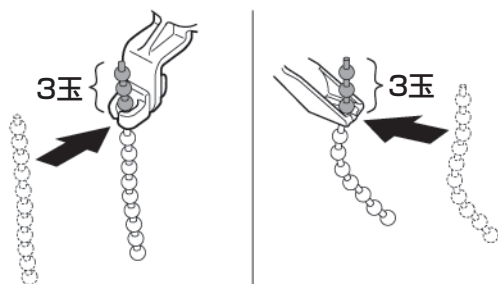
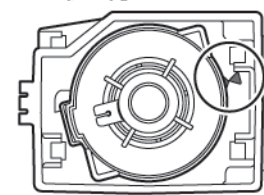
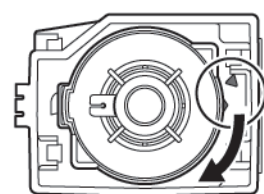


5 切替弁を下げる



8 玉鎖を取り付ける

※正しく取り付けないと止水不良になります。

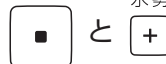
**6 ▲をあわせて
取り付ける****7 制御筒を時計回りに回す****9 カバー(2個)を元に戻す****10 完了後の確認**

- ☐ 止水栓を開け、2～3度洗浄させて、水漏れなどがないか
- ☐ 正常に洗浄するか
- ☐ 洗浄後、水たまり面の低下がないか

9 やわらかライトの設定

※ウォシュレット アプリコットのやわらかライトは入/切を選択できます。

- 1** 止 と 水勢



リモコンランプが
点灯・点滅するまで押す(約10秒)

確認



- 2** おしり/ソフト



- 3** ビデ/ワイド



- 4** 設定したい項目を選んでボタンを押す

【「使う」とき】

【「使わない」とき】

水勢

水勢



ピッ

ピーッ

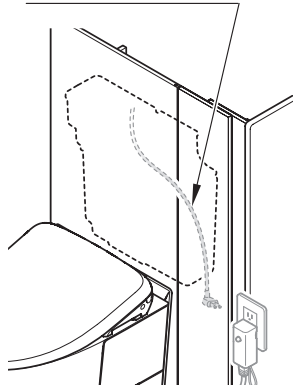
※ボタンのデザインは仕様により異なります。

10 電源プラグの差し込み

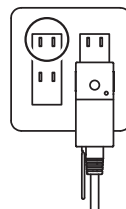
一般地の場合は**12**へ、
寒冷地流動方式の場合は**11**へ

- 1** コンセントを差し込む

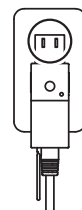
ヒーター付
タンク用電源コード



4口コンセントの場合



2口コンセントの場合

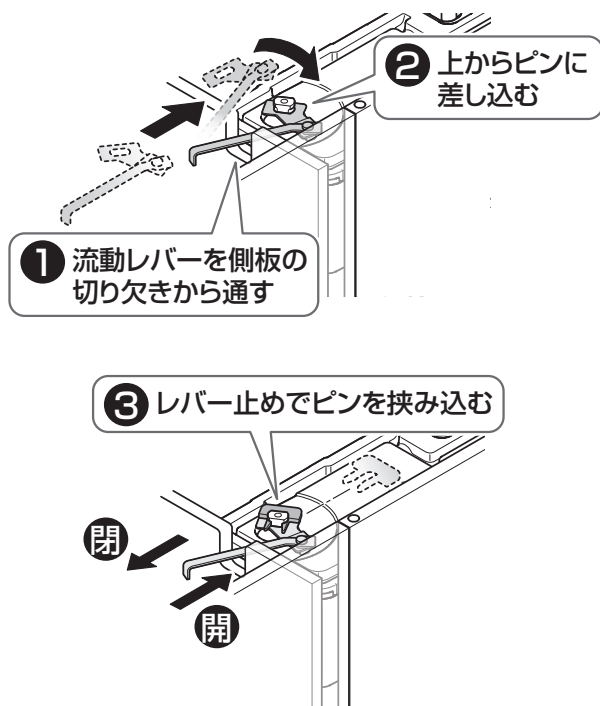


11

流動レバーの作動確認



一般地/寒冷地水抜方式
の場合は12へ



④ 作動確認

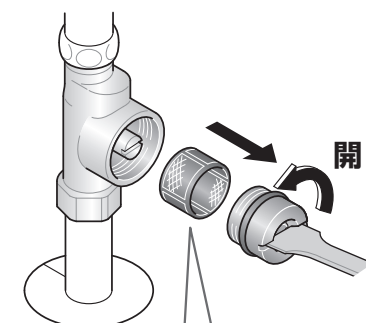
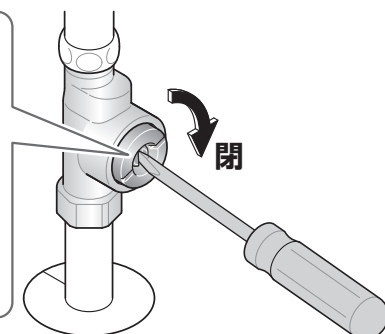
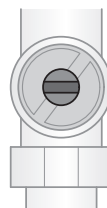
- ☐ 流動レバーを手前に回し、水が流れることを確認する。
- ☐ 作動確認後、流動レバーを奥壁側に回し、閉まることを確認する。
- ☐ 確認後、止水栓を閉める。

12

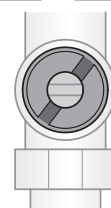
給水フィルターの清掃

必ず実施してください

① 止水栓を閉める ※内側だけを回す



② ふたを開け、 給水フィルターを取り外す ※外側だけを回す

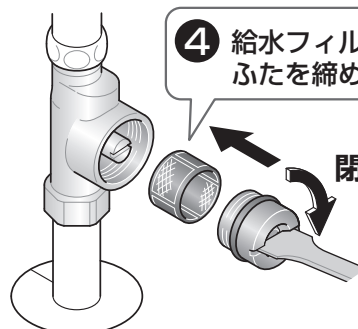


※止水栓は必ず商品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

③ 給水フィルターの清掃

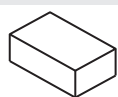


④ 給水フィルターを取り付け、 ふたを締め付ける



17. 天板

使用部材



詰め合わせ箱

天板開閉部材セット※まるごと収納タイプの場合

スライド丁番セット

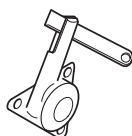


スライド丁番
(2個)



皿タッピンねじ
3.5×14(4本)

ダンパーセット



ダンパー 本体
(1個)



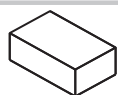
ダンパー 座金
(1個)



トラス小ねじ
M4×8(5本)



トラス小ねじ
M4×5(1本)

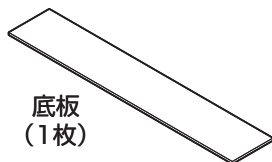


コアキャビネット

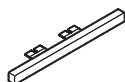
コアキャビネット

【まるごと収納タイプの場合】

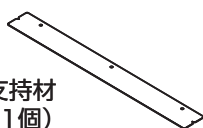
底板セット



底板
(1枚)



キャップ
(1個)



支持材
(1個)

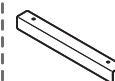


トラスタッピンねじ
4×10(5本)

天板セット

支持材セット

【スリム収納タイプの場合】



支持材
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットL



キャップ(L)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

キャップセットR



キャップ(R)
(1個)



トラスタッピンねじ
4×8(2本)

MEMO

まるごと収納タイプの場合

▶P.102

スリム収納タイプの場合

▶P.104

まるごと収納タイプ

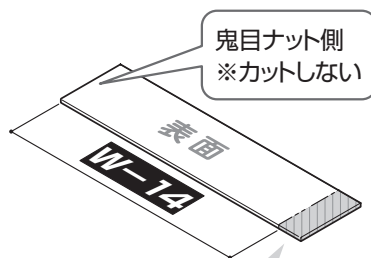
1 天板の加工

1 測定

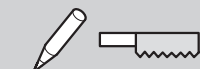
W寸法

※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



2 けがき → カット



チッピングに注意すること



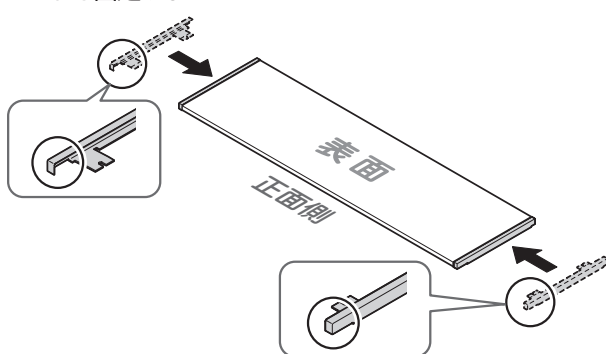
のこぎりの場合は
表面からカット



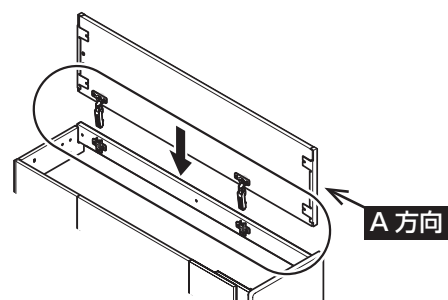
丸のこの場合は
裏面からカット

3 取り付け

※ねじ固定しない

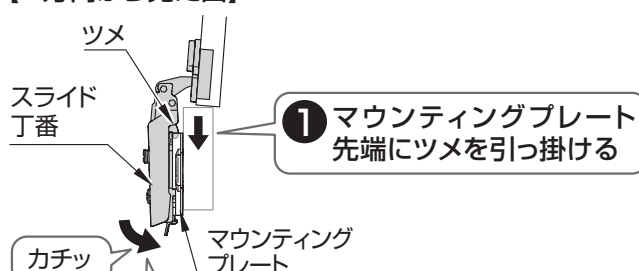


3 天板の取り付け



取り付けかた

【A方向から見た図】

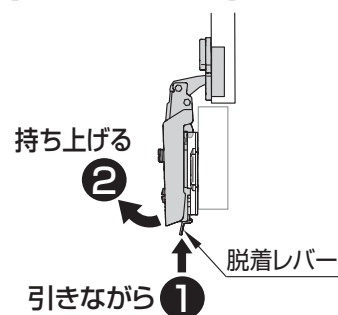


2 押し下げる

スライド丁番本体がきちんとマウンティングプレートに装着
されているか確認する

取り外しかた

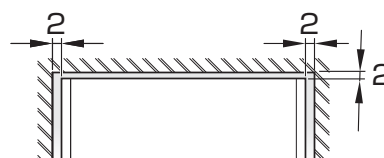
【A方向から見た図】



3 すき間を調整する

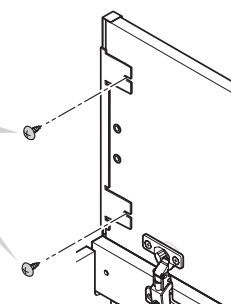
天板の両端が壁をこすらないこと

【上面図】



4 手締めで

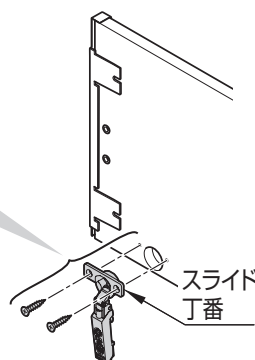
トラスタッピンねじ
4×8 (左右各2本)



2 スライド丁番の取り付け

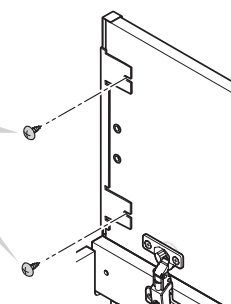
1 手締めで

皿タッピンねじ
3.5×14 (左右各2本)



4 手締めで

トラスタッピンねじ
4×8 (左右各2本)



4 ダンパーの取り付け

① 手締めで



・丸穴は使用しない
・固定後ゆるみがないか確認

トラス小ねじ
M4×8 (5本)

ダンパー座金

ダンパー本体

② 手締めで



軸に穴をはめ込み固定
【軸に穴があわない場合】
②のねじをゆるめて
位置を調整する

トラス小ねじ
M4×5 (1本)

5 底板の加工

① 測定

W寸法

※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



② けがき → カット

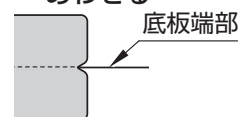


④ 手締めで



トラスタッピンねじ
4×10 (3本)

③ 底板前端に あわせる



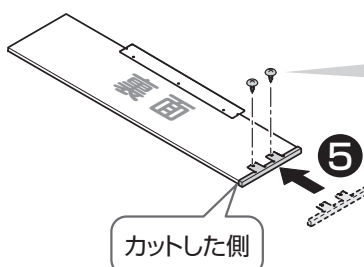
支持材

底板

⑥ 手締めで

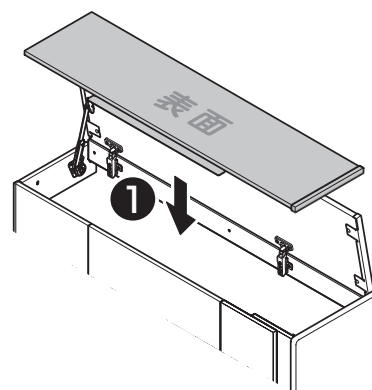


トラスタッピンねじ
4×10 (2本)



カットした側

6 底板の取り付け



※底板にがたつきがある場合は底板下のアングル材で調整すること

🔑 P.105 18.仕上げへ

スリム収納タイプ

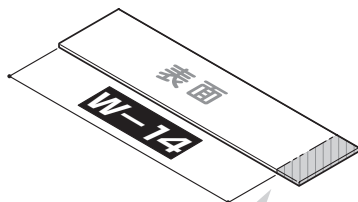
1 天板の加工

1 測定

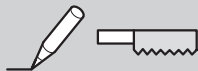
W寸法

※奥・手前の狭い方を
基準にする

【上面図】



2 けがき → カット



チッピングに注意すること

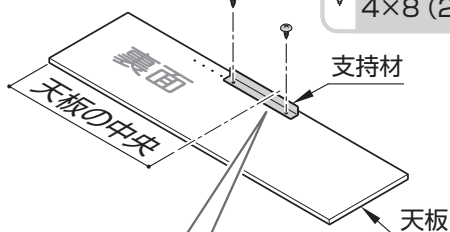


2 天板の組み立て

2 手締めで



トラスタッピンねじ
4×8 (2本)

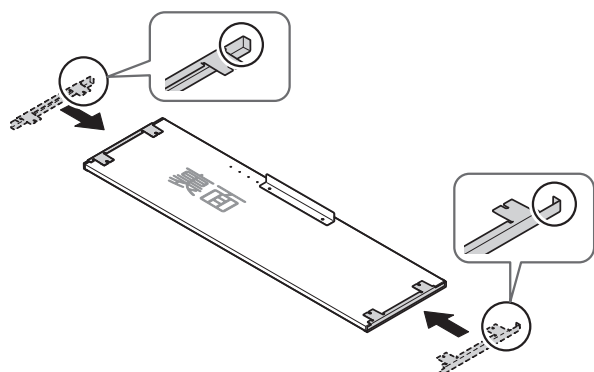


1 中心をあわせ近い位置の下穴にあわせる



3 取り付け

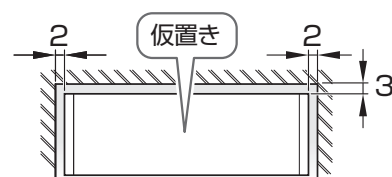
※ねじ固定しない



4 すき間を調整する

天板の両端が壁をこすらないこと

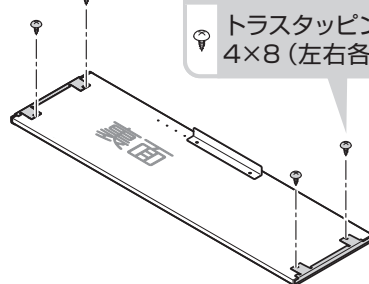
【上面図】



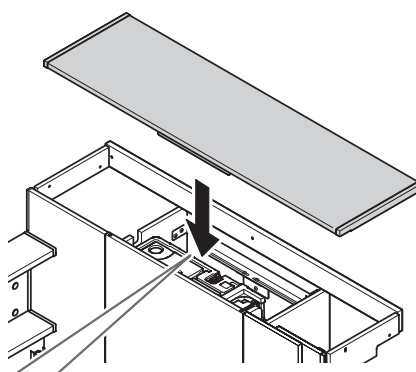
5 手締めで



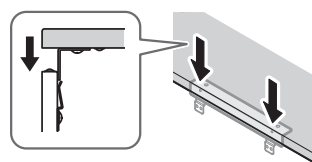
トラスタッピンねじ
4×8 (左右各2本)



3 天板の取り付け

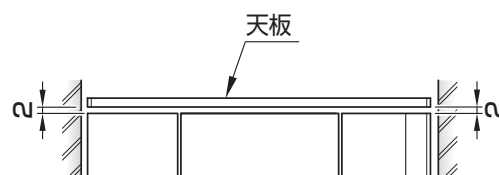


1 前板組品に支持材を差し込む



2 すき間を調整する

【正面図】



18. 仕上げ

扉の調整については下記URL内の「扉の調整」をご覧ください。

【URL】 https://jp.toto.com/support/repair/toilet/cabinet/rt_door05_mov/



使用部材

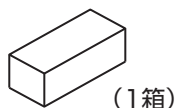


詰め合わせ箱

施工説明書

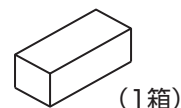


ハンドグリップ



タオル掛け

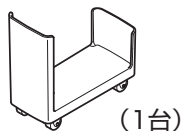
【壁取付タイプ】



コアキャビネット

コアキャビネット

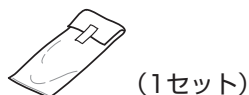
引き出しラック



詰め合わせ箱 (手洗器キャビネット用)

タオル掛け

【手洗器下取付タイプ】



紙巻器

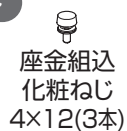
【メタル製】



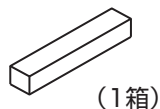
その他包装

カウンター

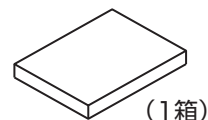
付属材セット



木製手すり



化粧鏡



MEMO

1 手洗器キャビネット扉の調整

【扉を開けたとき、壁などに当たる場合】

クッション材

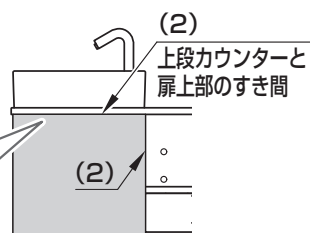
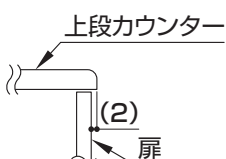


① クッション材をはり付ける
「施工説明書」同梱

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後はり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒に
お客様に渡してください。

2 扉を調整する

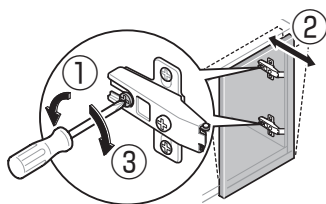
【側面図】



前後を調整 (右開き)

- ① ゆるめる (左回し)
- ② 扉を動かす
- ③ 締める (右回し)

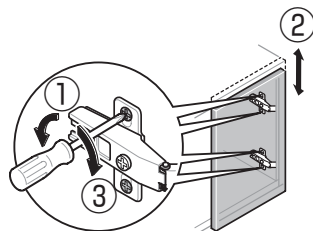
※左開きも同様です。



上下を調整 (右開き)

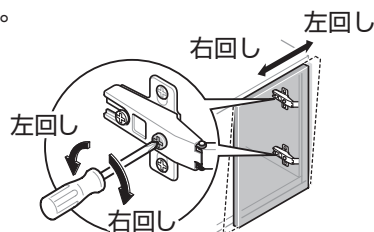
- ① ゆるめる (左回し)
- ② 扉を動かす
- ③ 締める (右回し)

※左開きも同様です。



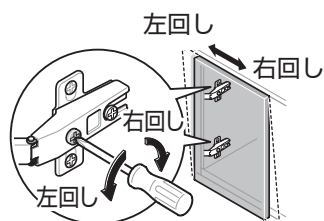
左右を調整 (右開き)

ねじを回すと、扉が動く。



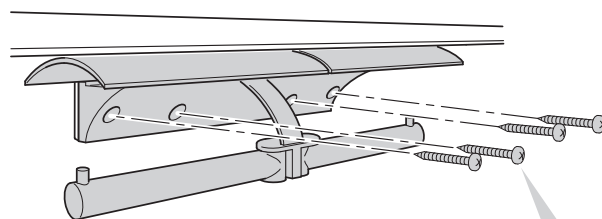
左右を調整 (左開き)

ねじを回すと、扉が動く。



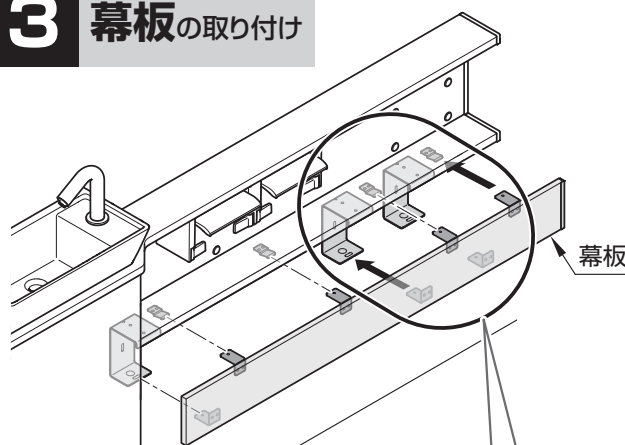
2 メタル製紙巻器の取り付け

樹脂製紙巻器の場合は
3へ

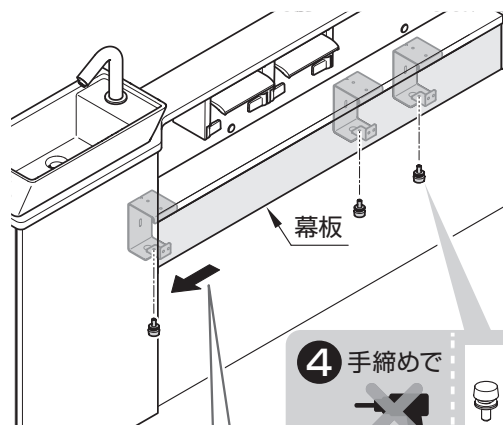


① けがき → 下穴
なベタッピンねじ
4×40 (4本)

3 幕板の取り付け



② 差し込む
取付材
アングル
① 上に載せる
アングル
ブラケット



④ 手締めで
座金組込
化粧ねじ
4×12 (3本)

③ 手洗器キャビネット
に押し当て

4 リモコン

- ① リモコンの取り付け **参照** ウォシュレット施工説明書
- ② リモコンの設定・作動確認 ▶P.54 **5** へ

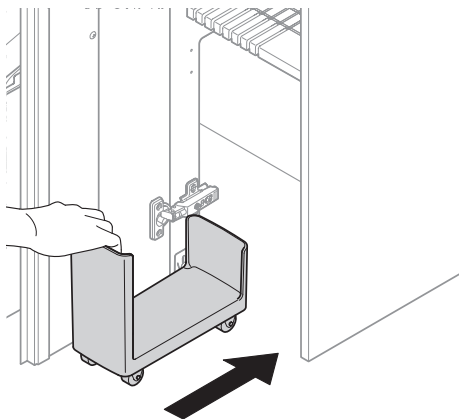
5 器具類の取り付け

【タオル掛け、化粧鏡、木製手すり、ハンドグリップを選択している場合】

参照 各商品に同封されている施工説明書

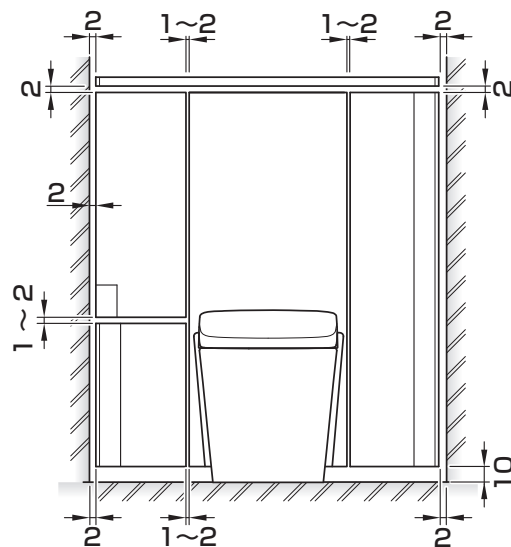
6 引き出しラック

大便器キャビネットの中に収納する

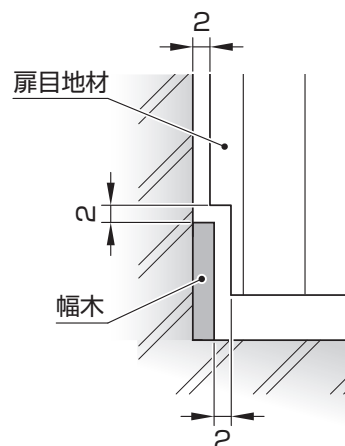


7 扉の本固定

仕上げ状態（目安）

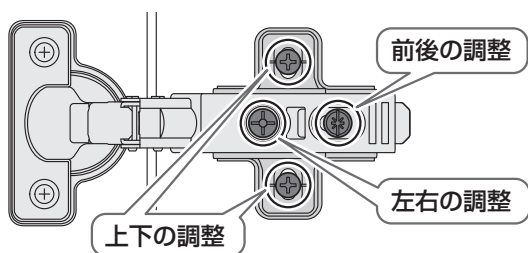


幅木がある場合

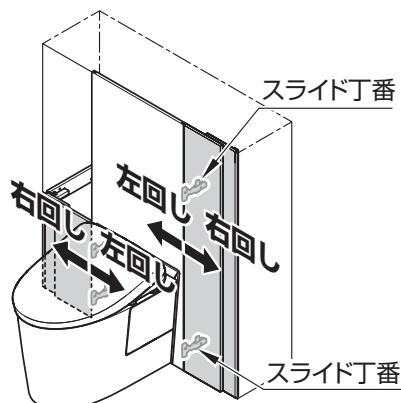


扉の調整

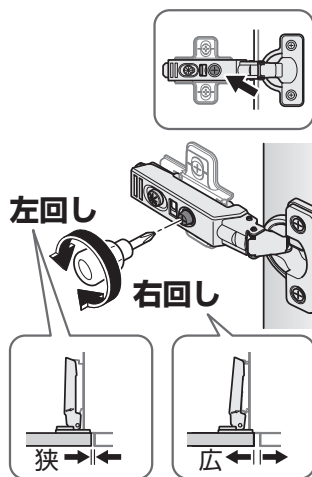
各ねじを調整することで扉を調整できます



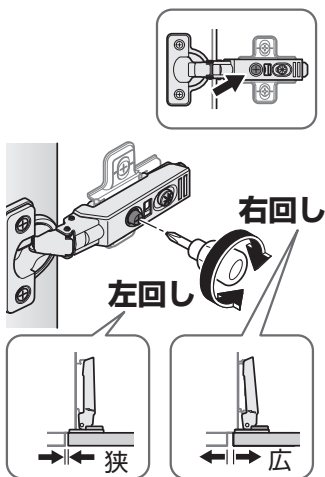
左右方向



【左扉】



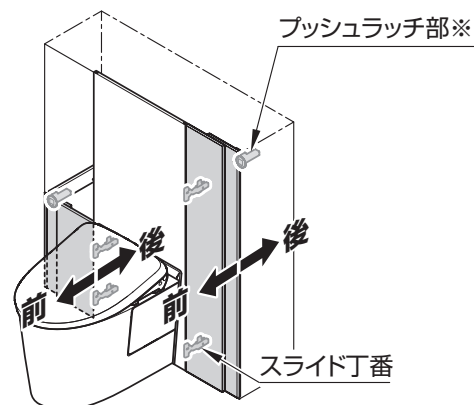
【右扉】



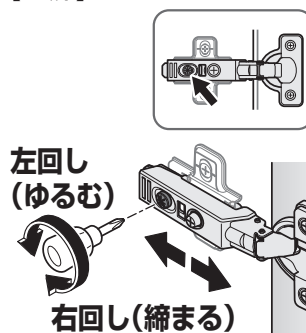
1 前後・上下方向の調整

ねじをゆるめ、扉を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

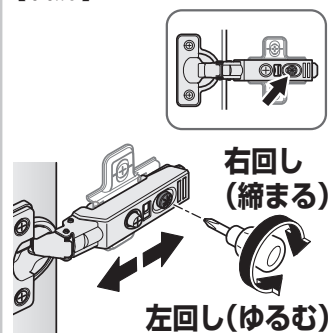
前後方向



【左扉】



【右扉】

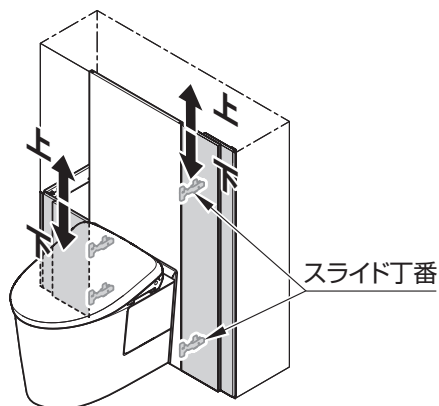


※プッシュラッチ部も前後調整できます。

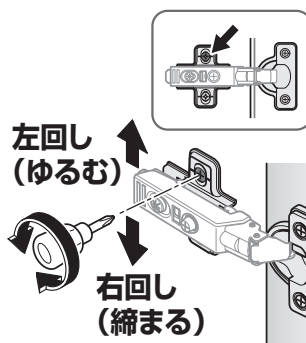


上下方向

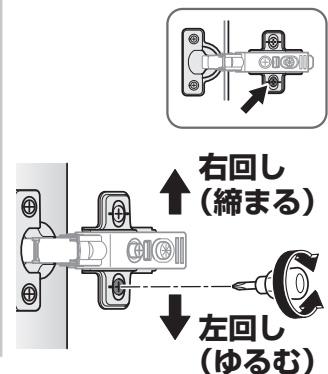
扉の上下調整は上下2つのスライド丁番の移動方向にあわせること



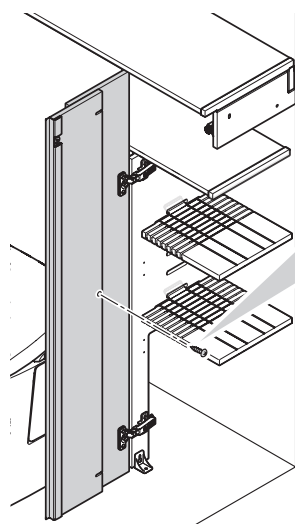
【左扉】



【右扉】



※扉の向きによって調整ねじ位置が変わります。



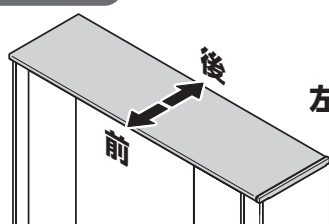
② 手締めで

トラスタッピンねじ
4×20(1本)

8 天板の調整

扉の調整

前後方向

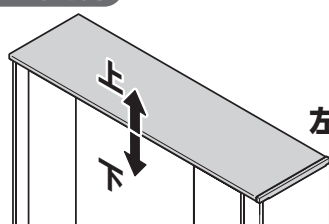


左回し(後)

右回し(前)

上下・左右はねじをゆるめ、天板を持って各方向にずらして位置を調整し、ねじを締めて固定してください。

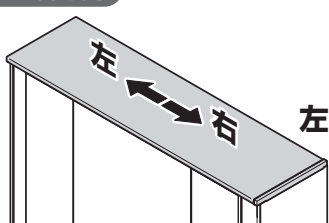
上下方向



左回し(ゆるむ)

右回し
(締まる)

左右方向



左回し(ゆるむ)

右回し(締まる)

閉まり速度調整

⚠ 注意



禁止

調整時に弱めすぎない
天板が速く閉まり、けがの原因となります。

分解、改造をしない
器具が破損し、けがの原因となります。

① ゆるみがある場合、増し締めしてしっかり固定する
※速度調節部は、限度以上に回さないでください。
※温度によりダンパーの作用速度が変わることがありますが、故障ではありません。

速く閉まる

左回し

右回し

ゆっくり閉まる

9 クッション材のはり付け

【天板・便ふたを開けたとき、壁などに当たる場合】

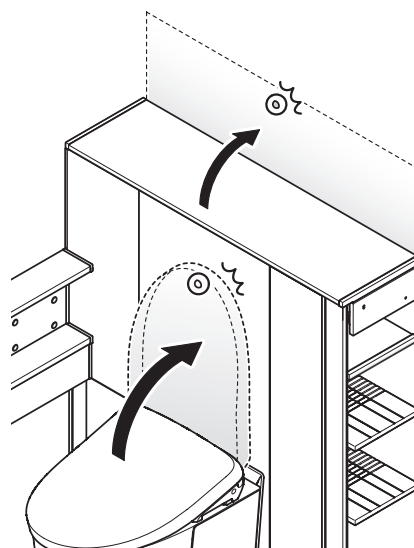
クッション材



① クッション材をはり付ける
「施工説明書」
「ウォシュレット」同梱

	天板上面	便ふた
まるごと収納タイプ	○	○
スリム収納タイプ	—	○

※はり付け面を水ぶきし、乾燥後にはり付けてください。
※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。



10 シリコン系シール材の塗布

手洗器



警告



必ず守る

シリコン系シール材の塗布(コーキング)は確実に
水などがキャビネット内に浸入してコンセント
にかかり、火災や感電の原因となります。

※防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)

※ジョイントコークなどの水溶性のコーキングは使用しないで
ください。

ベッセルタイプ(丸形)

1 シリコン系
シール材



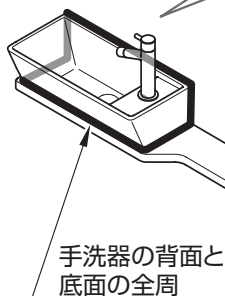
手洗器の背面と
底面の全周

バックパネルありの場合



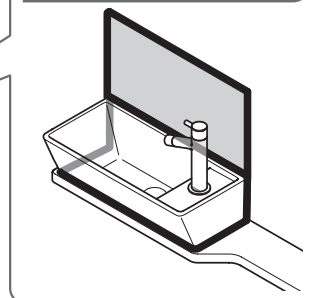
ベッセルタイプ(角形)

1 シリコン系
シール材



手洗器の背面と
底面の全周

バックパネルありの場合

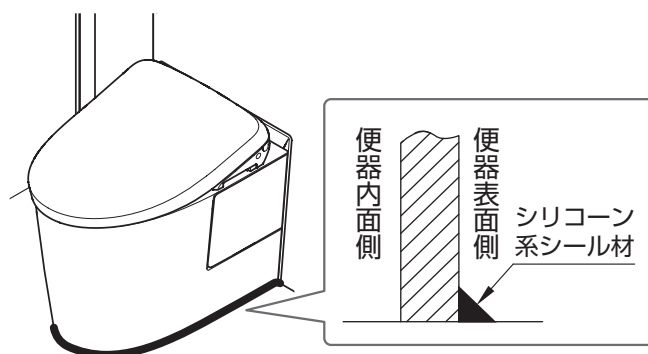


ハイバックタイプ

※手洗器・キャビネット周辺のシリコン系シール材は不要です。

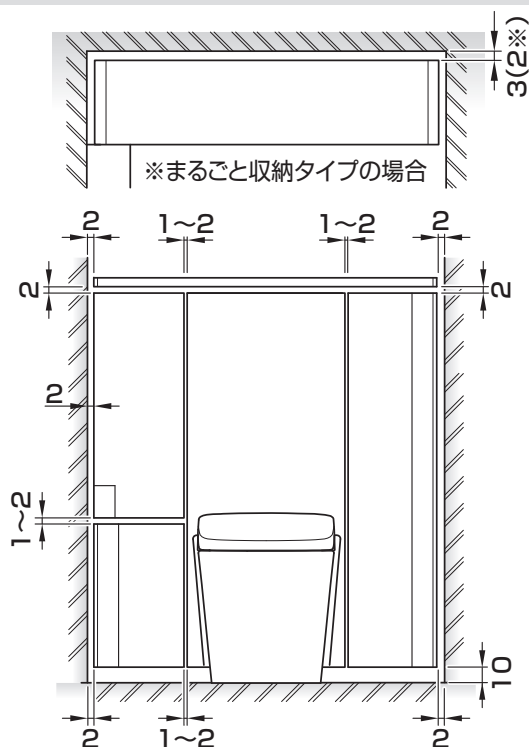
大便器

水や小水の浸入を防止するため、便器床接地部周囲に
防カビ性の透明シリコン系シール材(別途手配)を
塗布することをおすすめします。

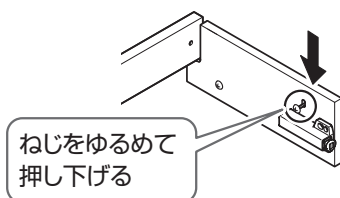


11 仕上げ状態の確認

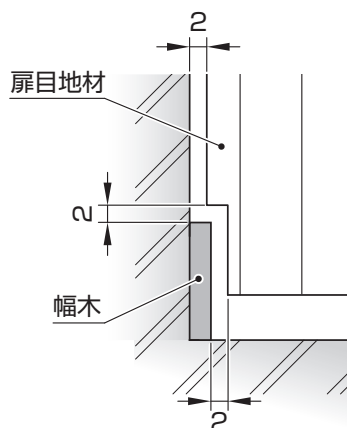
仕上げ状態（目安）



天板と側板組品が当たり2mmにならない場合

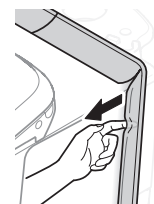


幅木がある場合

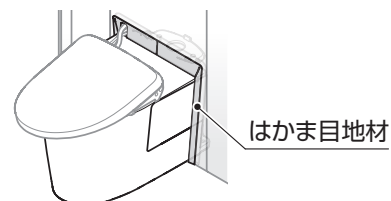


はかま目地材がめくれた場合

- 1** はかま目地材とのすき間に手を入れ、はかま目地材を引き出し、ズレを調整する



- ## ② めくれている箇所がないか確認する



MEMO

